

2013年度

事業報告書

附 一般会計収支決算書

附 (2014年度事業計画)
(2014年度一般会計予算)



一般社団法人 津山青年会議所



一般社団法人 津山青年会議所
第56代理事長 光岡宏文

事業報告書

2013年度、一般社団法人津山青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現に向けて、「我々が"つやま"に活力を与える 今こそ和っしょい! ~心一つに力強く盛り上げていこう~」をスローガンに掲げ、また、運動方針として、

- 情熱溢れるひとづくり（地域に誇りと愛着をもち積極果敢に行動できるひとづくり）
- 活力溢れるまちづくり（地域社会がひとつになり笑顔と活気溢れるまちづくり）
- 勢いあるJCづくり（厳しさと楽しさを兼ね備えた一体感あるJCづくり）

という3つの方針を掲げ、メンバー一丸となって全力で運動・活動を展開して参りました。

今年度は中国地区コンファレンスの主管、美作国建国1300年記念事業の津山城模擬天守復元、沖縄県宮古島市での青少年健全育成事業など、大きな事業に数多く取り組む年でありました。

昨年7月に理事長予定者として承認をいただきましてから今日まで、メンバーや先輩、会社や家族、地域の方々をはじめ多くの方々に支えられ理事長の職務を全うすることができました。本当に大変な一年でしたが、様々な方と出逢い本当に楽しい一年でもありました。

元日には恒例となっております「迎春の会」を徳守神社にて行い、メンバーと共に一年間の事業の成功を祈念しスタートを切りました。また、多くのご来賓や特別会員の皆様のご臨席の下、「新年懇親会」を開催させていただきました。10名の新会員が加わり、新会員研修会導入編・研修編を通じて絆を強め、成長した姿も見ることができました。

また、野球部におきましては、岡山ブロック野球大会優勝を目標に掲げ、当初より全員野球で練習を進めてまいりました。6月23日には夢が現実となり岡山ブロック野球大会優勝を果たすことができ、9月に開催された中国地区野球大会では準優勝という結果を残すことができました。

6月29日には、津山青年会議所が17年ぶりに主管させていただくこととなった「中国地区コンファレンス」が1000名を超える登録のもと開催されました。前日の中国地区協議会会員会議所をはじめ、式典、フォーラム、高校生によるソーシャルストック発表をはじめ、地域の方々も参加しての地域活性化からいちなど、先輩方や岡山ブロック協議会、中国地区協議会の方々のご協力やご指導をいただきながら、地域の方々とも一体となって津山の魅力と勢いを発信し、盛大に開催することができました。

7月25日～28日には3泊4日の日程で、津山の子どもたちと、東日本大震災の影響で岡山県に避難している子どもたちを、姉妹都市である沖縄県宮古島市に連れて行き、民泊やキャンプを通じた青少年健全育成事業を開催させていただきました。多くのメンバーが参加し、先輩方から受け継いだ宮古島との絆をもって無事に開催させていただくことができました。次年度の姉妹都市、姉妹JC締結50周年につきましても、よりつながりを強めることができた事業となりました。

そして、先輩方の想いを引き継ぎながら準備をすすめてまいりました、美作国建国1300年記念事業「津山城天守復元～今こそ和っしょい!津山城～」では、300名を超えるボランティアや他団体の皆様のご協力のもと、8月2日から18日まで天守台に模擬天守を復元することができました。同時に

開催させていただいた「津山城ふれあいスタンプラリー」も合わせて、改めてランドマークである津山城に目を向ける大変よい機会となり、各方面より多くの賞賛の声をいただきました。

まつりプロジェクトでは、ごんご祭りや津山祭りに参画すると共に、昨年度制作した総踊りである「和っしょい！津山」の普及活動を行い、ごんご祭りの他、数校の小学校で運動会の際に踊っていただきました。

2020年の森におきましては、継続して管理育成を行うと共に、2020年を見据えて今後の事業展開を考える機会をつくりました。

また、2011年に引き続き日本青年会議所の事業であります「JCI少年・少女国連大使」に全国20名の枠の中、津山JCI推薦で大使を輩出させていただくことができました。世界の現状について子ども目線で感じたことを小学校や市民憲章デー、例会や他団体の会での発表を通じてしっかりと伝えていくことができました。

その他にも本年度は多くの事業を開催させていただきましたが、本年度開催された事業は、全て津山青年会議所の歴史・伝統があり、先輩方や他団体の方々のご協力やご指導があってこそ成り立った事業でありますことに改めまして御礼を申し上げます。

次年度は7名の新会員を迎えると共に、宮古島と津山の姉妹都市・姉妹JCI締結50周年の節目を迎える年にもなります。今年度培った一体感と勢いを次年度にしっかりと引き継ぎながら、今後もさらにメンバーの英知と勇気と情熱を集め、共に考え、共に汗を流し、共に感動できるような「一体感と勢いのある、真に地域に必要とされるJCI」を目指して、心一つに力強く邁進して参りますことをお誓い申し上げ、報告に代えさせていただきます。

理 事 長 公 職 一 覧

名 称	役 職	名 称	役 職
津山市市民憲章推進協議会	副 会 長	津山市国際化プラン策定審議会	委 員
津山文化センター運営審議会	副委員長	津山市安全・安心まちづくり推進協議会	〃
津山さくらまつり実行委員会	〃	津山納涼ごんごまつり実行委員会	副委員長
津山市観光開発審議会	委 員	津山市勤労者総合福祉センター運営委員会	委 員
津山市商工業振興対策審議会	〃	津山環境保全対策推進審議会	〃
(財)津山文化振興財団	理 事	津山環状道路促進協議会	〃
津山国際総合音楽祭委員会	監 事	津山市ゆとり創造プラン推進協議会	副 会 長
津山市社会教育委員会	委 員	空路利用を促進する津山地域の会	会 員
津山市教育相談センター「鶴山塾」運営委員会	〃	津山線高速化推進期成同盟会	監 事
津山市交通安全対策協議会	〃	津山サンタフェ友好協会	委 員
(財)津山スポーツ振興財団	理 事	津山警察署管内暴力追放推進連合会	評 議 員
津山市ニューメディア推進会議	委 員	津山市社会福祉協議会	委 員
津山市人権尊重の教育推進協議会	〃	津山私学教育振興連絡会議	〃
津山市人づくり事業運営委員会	〃	津山市社会教育施設整備運営検討委員会	〃
津山防衛協会	副 会 長	津山市生涯学習推進会議	〃
津山地区青少年健全育成連絡会	委 員	津山市立図書館協議会	〃
津山ガン対策協議会	〃	津山地域工業化ビジョン検討委員会	〃
津山観光キャンペーン推進会議	常任委員	津山市空路利用促進協議会	〃
津山まつり実行委員会	委 員	津山市青年団体連絡協議会	理 事
津山市観光ビジョン推進委員会	〃	津山市青少年育成センター運営審議会	委 員
津山市情報公開制度運営審議会	〃	津山市行政改革推進委員会	〃
津山市献血推進委員会	〃	津山市男女共同参画まちづくり審議会	〃
津山市文化振興事業基金運営委員会	〃	(社)津山市観光協会	理 事
「社会を明るくする運動」津山市実施委員会	常任委員	第19回全国生涯学習フェスティバル津山市実行委員会	委 員
津山市体育協会	委 員	中島病院旧本館保存活用プラン協議会	〃
津山市清掃手数料審議会	〃	岡山県津山婦人青年の家運営委員会	〃
津山市個人情報保護制度運営審議会	〃	津山市手をつなぐ育成会	代 議 員
津山市総合計画審議会	〃	特定非営利活動法人つやまNPO支援センター	理 事

組

織

1. 正 会 員

2012年度末会員数	49名
2013年度新加入者数	10名
2013年度中途退会者数	4名
2013年度年限退会者数	7名
2013年度末会員数	48名

会員移動明細

区分	氏名	勤務先	役職
新加入者	尾 島 佑 輔	津山信用金庫	渉外課 渉外主任
	片 田 恭 裕	(有)電気設備カタダ	取 締 役
	片 山 英 之	(有)片山印刷所	代表取締役社長
	武 本 貴 之	鶴山運送株式会社	
	田 邊 久 人	(株)タナベ	専 務 取 締 役
	西 村 憲 明	デザイナー	
	早 瀬 久 善	(株)早瀬食品	
	眞 木 祐 治	(有)マキ保険	取 締 役
	松 本 宏 光	津山市役所	主 事
中途退会者	森 山 裕 一	森山建設(株)	
	岡 章 之		
	武 本 貴 幸 治 仁		

2013年度年限退会者

区分	氏名	勤務先	役職	月
年限退会者	全 本 諦 令	全秦通商(株)	常 務 取 締 役	
	佐 野 彰 彦	(株)佐野食品	専 務 取 締 役	
	田 村 泰 庸	(株)田村工務店津山	常 務 取 締 役	
	西 口 元 庸	東津山保育園		
	柳 澤 雅 人	(有)といち	代表取締役社長	
	高 橋 拓 己	(有)高橋工芸	常 務 取 締 役	
	有 本 淳 二	(株)アリモト	専 務 取 締 役	

2. 特別会員 2013年度末会員数 378名

2013年度 理事・役員名簿

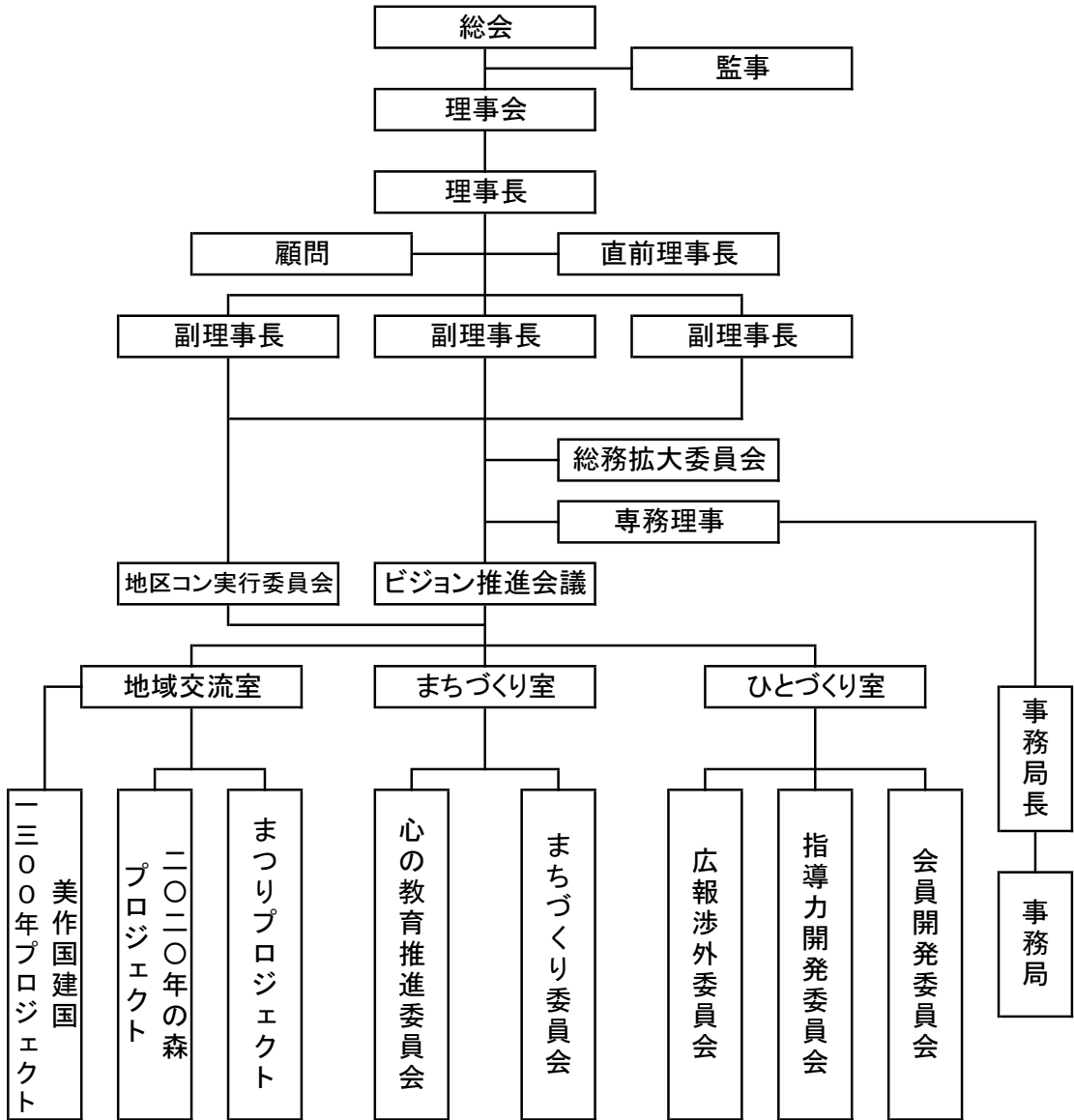
理事	長	光岡宏文	
直前理事	長	村上雅人	(岡山ブロック協議会 監査担当役員)
理事	顧問	佐野彰彦	
副理事	長	全本諦令	(ビジョン推進会議 議長)
副理事	長	長谷川毅	(室担当)
副理事	長	河原淳	(中国地区コンファレンス実行委員会 実行委員長)
総務拡大委員会委員	長	西口元庸	(岡山ブロック協議会総務委員長連絡会議 議員)
専務理事	長	土居大介	
ひとづくり室室長	長	須江健治	(公益社団法人日本青年会議所 復興支援委員会)
まちづくり室室長	長	山本幸治	
地域交流室室長	長	龍門慶輝	(美作国建国1300年プロジェクトキャプテン)
事務局局長	長	柳澤雅人	
ひとづくり室副室長	長	有本淳二	(中国地区協議会 国家主権確立委員会 委員)
まちづくり室副室長	長	有本紳介	
地域交流室副室長	長	鳥越俊之	(まつりプロジェクトキャプテン)
会員開発委員会委員長	長	菅田拓平	
指導力開発委員会委員長	長	高橋拓己	(岡山ブロック協議会 市民の未来選択委員会 委員)
広報渉外委員会委員長	長	脇優太	
まちづくり委員会委員長	長	福田邦夫	
心の教育推進委員会委員長	長	橋本安弘	
2020年の森プロジェクトキャプテン		寺本健志	

監	事	田村泰庸	
監	事	仲西祐一	(中国地区協議会 国家主権確立委員会 委員)

(常任オブザーバー)

日本青年会議所		鈴木大介	(復興支援委員会 委員)
日本青年会議所		中川洋平	(未来の企業創造委員会 委員)
岡山ブロック協議会		岸本洋平	(監査担当役員 幹事)
岡山ブロック協議会		平井伸明	(監査担当役員 幹事)
岡山ブロック協議会		保田知己	(監査担当役員 幹事)
岡山ブロック協議会		小林諭卓	(総務委員長連絡会議 議員)
岡山ブロック協議会		北村暢宏	(輝ける地域再生委員会 副委員長)
岡山ブロック協議会		岡章	(輝ける地域再生委員会 委員)
岡山ブロック協議会		中川洋平	(勇壮なるリーダー増強委員会 委員)
岡山ブロック協議会		河野雅樹	(勇壮なるリーダー増強委員会 委員)
岡山ブロック協議会		石原雅志	(市民の未来選択委員会 委員)

2013年度(一社)津山青年会議所 組織図



2013年（一社）津山青年会議所 所属表

理事長	高前理事長	理事・顧問	副理事長	副理事長	副理事長	副理事長	監事	監事
光岡 宏文	村上 雅人 委員会名	佐野 彰彦 副委員長	全本 諭令 幹事	長谷川 毅 副理事長	河原 淳 副理事長	田村 泰庸 監事	仲西 祐一 監事	
専務理事	土居 大介 総務拡大委員会	西口 元庸 理事・委員長	村上 雅人 副委員長	柳澤 雅人 幹事	委員			
事務局長	柳澤 雅人 中国地区コンファレンス 実行委員会	実行委員長 河原 淳	副実行委員長 須江(健)・山本(幸)・龍門	幹事	柳澤・有本(淳)・有本(紳)・鳥越	部会長 菅田・高橋・脇・福田・橋本		
理事・室長 ひとつくり室	須江 健治 会員開発委員会	理事・委員長 菅田 拓平	副委員長 未澤	幹事 山本(俊)	委員 北村・鈴木・廣田・片田			
	理事・副室長 有本 淳二 指導力開発委員会	理事・委員長 高橋 拓己	副委員長 植月	幹事 河野	委員 山本(真)・山本(竜)・石原・岡・武本			
	理事・副室長 有本 紳一 広報渉外委員会	理事・委員長 脇 慶太	副委員長 福島	幹事 小林	委員 寺本・平井・早瀬・松本			
まちづくり室	山本 幸治 まちづくり委員会	理事・委員長 福田 邦夫	副委員長 須江(庸)	幹事 金田	委員 土井・中川・奥田・若林・尾島・森山・眞木			
	有本 紳一 心の教育推進委員会	理事・委員長 橋本 安弘	副委員長 小笠原	幹事 山形	委員 池田・梶岡・岸本・保田・片山・田邊・西村			
地域交流室	龍門 慶輝 美作国建国1300年 プロジェクト	キャプテン 龍門 慶輝	副キャプテン 鳥越	幹事 鈴木	プロジェクトメンバー 有本(淳)・有本(紳)・田村・池田・石原・奥田・岸本・平井			記念事業担当 まちづくり委員会
	理事・副室長 鳥越 俊之 まつりプロジェクト	キャプテン 鳥越 俊之	副キャプテン 山本(竜)	幹事 廣田	プロジェクトメンバー 佐野・梶岡・仲西・植月・小笠原・岡・金田・河野・平井・保田・山本(俊) 尾島・片山・田邊・武本・西村・早瀬・眞木・松本・森山			
	2020年の森プロジェクト	理事・キャプテン 寺本 健志	副キャプテン 北村	幹事 岸本	プロジェクトメンバー 中川・池田・仲西・奥田・金田・山本(俊)・山形			
(公社)日本青年会議所 復興支援委員会 須江(健)・鈴木	未来の企業創造委員会 中川	中国地区協議会 国家主権確立委員会 有本(紳)・仲西	輝ける地域再生委員会 北村・岡	中国地区協議会 国家主権確立委員会 有本(紳)・仲西	市民の未来選択委員会 高橋・石原			一般社団法人 津山青年会議所 〒708-0022 岡山県津山市山下30-9 (津山商工会館内4階) TEL: (0868)22-6713 FAX: (0868)25-1415
岡山プロジェクト協議会 村上 津山市民憲章 推進協議会	監査担当役員 岸本・平井・保田 副会長 光岡	総務委員長連絡会議 西口・小林 事務局長 須江(健)	勇壮なリーダー増強委員会 中川・河野	市民の未来選択委員会 高橋・石原				

2013年度事業報告

◎総会例会

月 日	内 容	会 場
1月17日	1月例会・定時総会 定時総会議案 2012年度事業報告（案）並びに決算書（案）について 2013年度予算一部修正について	津山国際ホテル
2月19日	2月例会 心の教育推進委員会例会企画 講師講演 講師 岡山おやじの会代表世話人 （社）岡山県青少年育成県民会議副会長 山本秀生氏 演題「家庭における父親の役割」	津山国際ホテル 津山国際ホテル
3月19日	3月例会 中国地区コンファレンス実行委員会アワー 2020年の森によるアワー	津山国際ホテル
4月19日	4月例会 会員開発委員会によるアワー	津山国際ホテル
4月24日	県北4JC合同例会（岡山ブロック会長公式訪問） 合同研修会 講師 小坂田英明 氏 演題 「笑顔あふれる企業づくり」	ソシエール津山
5月19日	5月例会 総務拡大委員会 拡大会議 まちづくり委員会によるアワー 地域のたから発見会議	津山国際ホテル
6月18日	6月例会・臨時総会 臨時総会議案 次年度理事選考委員会の選出について 指導力開発委員会例会企画 講師講演 講師 稲葉 伸次 先輩 演題「青年会議所と様々な団体の交流について」	津山文化センター 津山国際ホテル
7月19日	7月例会・臨時総会 心の教育推進委員会アワー まつりプロジェクトアワー 臨時総会議題 次年度理事長選出の件	津山国際ホテル
8月19日	8月例会	津山国際ホテル
9月18日	9月例会・臨時総会 J C I J A P A N 少年少女国連大使の光岡海女さん活動報告並びに 啓蒙活動 委員会アワー 指導力開発委員会「卒業予定者スピーチ」	津山国際ホテル 津山国際ホテル
10月19日	10月例会 委員会アワー 指導力開発委員会「卒業予定者スピーチ」	津山国際ホテル
11月19日	11月例会 委員会アワー 指導力開発委員会「卒業予定者スピーチ」	津山国際ホテル
12月19日	12月例会・定時総会 定時総会議案 2013年度補正予算（案）について 2014年度役員承認について 2014年度事業計画（案）について 2014年度予算（案）について	津山国際ホテル

◎理 事 会

月 日	内 容	会 場
1月9日	審議事項 1) 繰越金決定による予算修正のについて 2) 津山まつりへの参画に関する事業計画書(案)承認について 協議事項 1) 2020年の森管理・育成に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	津山商工会館議員室
2月9日	審議事項 1) 迎春の会に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 2) 青少年健全育成事業に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 3) 2020年の森管理・育成に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について	津山商工会館議員室
3月8日	審議事項 1) 青少年健全育成事業に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 2) 美作国建国1300年実行委員会への参画に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 協議事項 1) 地域発展に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	津山商工会館議員室
4月9日	審議事項 1) 地域発展に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 協議事項 1) 青少年健全育成事業に関する事業計画書について	津山商工会館議員室
4月17日	協議事項 1) 青少年健全育成事業に関する事業計画書について	津山商工会館会議室
5月9日	審議事項 1) 新年懇親会に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 2) 青少年健全育成事業に関する修正事業計画書(案)及び事業収支修正予算書(案)について	津山商工会館議員室
6月10日	審議事項 1) 2013年度6月例会開催日変更の件 2) LOM新会員研修(導入編)に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 3) LOM新会員研修(研修編)に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 4) 2013年度8月例会開催時間変更の件 5) 納涼会に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 6) 青少年健全育成事業に関する修正事業計画書(案)及び事業収支修正予算書(案)承認について	津山商工会館議員室
7月9日	協議事項 1) 2020年の森管理育成に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	津山商工会館議員室
8月9日	審議事項 1) 2013年度9月例会日程変更の件 2) 2020年の森管理育成に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 3) 第39回岡山JC・津山JC交歓会に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について	津山商工会館議員室
10月9日	審議事項 1) 納涼会に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 2) 青少年健全育成事業に関する事業収支修正予算書(案)承認について 3) 2013年度12月理事会開催時間変更の件 4) 望年会に関する事業収支予算書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 協議事項 1) 青少年健全育成事業に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	津山商工会館議員室

月 日	内 容	会 場
11月9日	審議事項 1) 2014年度一般社団法人津山青年会議所新会員承認について 2) 武本貴之君退会について 3) 美作国建国1300年実行委員会への参画に関する事業収支補正予算書(案)承認について 4) 美作国建国1300年実行委員会への参画に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 5) 津山のまつりへの参画に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 6) 地域の発展に関する事業収支補正予算書(案)承認について 7) 地域発展に関する事業計画書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 8) 青少年健全育成事業に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について	津山商工会館議員室
11月25日 臨時	審議事項 1) 山本幸治君退会について	津山商工会館会議室
12月9日	審議事項 1) 2014年度一般社団法人津山青年会議所新会員承認について 2) 2014年度一般社団法人津山青年会議所特別会員承認について 3) 若林章仁君退会について 4) 第39回岡山JC・津山JC交歓会に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)承認について 5) 2013年度一般社団法人津山青年会議所補正予算書承認について 6) 2014年度一般社団法人津山青年会議所事業計画書(案)承認について 7) 2014年度一般社団法人津山青年会議所予算書(案)承認について 8) 新会員研修に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 9) 会員開発に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 10) 2014年度1月例会時間変更の件 11) 会員同士の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 12) 新会員研修に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について 13) 京都会議に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)承認について	津山商工会館議員室
12月27日	審議事項 1) 岡章君退会について	津山商工会館会議室

2013年度 報 告 書

直前理事長 村 上 雅 人



2013年度直前理事長として、また新たな1年を過ごさせていただきました。1年間携わりをいただきました皆さまに対し、まずは感謝申し上げます。役割柄少し外から組織やその運動を客観視することができ、故にまた違った視点で新たに感じることもございました。

そして、本年は光岡理事長の責任感あふれるリーダーシップのもとLOM事業、美作国建国1300年祭、中国地区コンファレンス等この地域を元気にする多くの事業を市民、行政、各団体と共に開催致しました。メンバー自身にとっても、年間を通じて様々な事業を経験することにより、一人ひとりの力は微力ではあるが決して無力ではないことを証明し、そして、地域を愛する気持ちが終結した時に大きな成果が生まれることを実証することができたことは、改めて敬意と感謝の意を表すところであります。

社会は目まぐるしく進んでいても、私たちは青年会議所として活動しているからこそ感じるものが沢山あり、だからこそ、それらの諸問題に多く関わっていかねばなりません。

当然大変な時代だからこそ、私たちにとってもそれは容易なことではありませんが、Jayceeである以上、果敢に挑んでいかななくてはなりません。次々と溢れ出てくる事件や問題、どんどん進みいく環境破壊等、自分たちの子どもの時代にはどんな世の中になってしまっているのだろうと不安を感じる所であります。後世代から先輩たちは何をしていたのだろう嘆かわされたくありません。私たちには時代を創る責任があります。自分に出来ること、まず自分から出来ることを今後も精一杯取り組んでいき、そして組織として「志」強きJCだからこそ方向性を一致、集結すれば必ず今の時代に大きな一石を投じることが出来るものと思っています。

来年は新たな1年が始まります。これまで経験をさせていただきましたことを無駄にしないよう更に精進し、JCにおいて、時代においてまた新たな役を担っていきたいと思います。最後になりましたが、JC運動を通じていただいたすべての皆様との出会いに厚く感謝申し上げます、直前理事長所感といたします。誠にありがとうございました。



理事・顧問 佐野 彰彦

本年度は光岡理事長よりこれまでの経験をもとに顧問の役職をいただきました。中国地区コンファレンス開催、美作国建国1300年事業、そして津山城模擬天守復元など話題に事欠かない大変充実した1年であったと感じております。美作国建国1300年では実行委員会へ監事を勤めさせていただきました。美作国10市町村がそれぞれの史跡や伝統、文化、風習を活かし、“懐かしく新しい未来へ還ろう”のタイトルに則した様々な取り組みが行われました。観光・産業・地域文化など各分野での交流通じ、今後のまちづくりの基点となる年ではなかったかと思えます。津山城模擬天守復元もその一環事業として津山市、津山商工会議所の支援をいただき開催をさせていただきました。内外から多くの反響があり、津山城再建の声も多く聞かれるようになりました。津山JCがこれまで引き継いできた城を中心としたまちづくりを今一度真剣に考えることが必要になっているのではないかと感じております。中心市街地活性の動きとリンクし、青年会議所の果たすべき役割を引き継いでいただきたいと思えます。私自身は本年をもって年限退会となりますが、今後のJC活動そして地域への運動へとしっかりつなげていただきたいと思えます。最後になりましたが、11年の長きに亘りお世話になりありがとうございました。これまで青年会議所を通じてお世話になりました皆様方に感謝を申し上げ報告とさせていただきます。



副理事長 全本 諦令

2013年、光岡宏文理事長のもと副理事長を務めさせていただきました。また、ビジョン推進会議議長の大役もいただき、議長として、理事長が目指す2013年の津山青年会議所の運動・活動を具現化すべく、青年会議所メンバーの英知と勇気と情熱を集め、共に考え、共に汗を流し、共に感動出来る事業を展開し、また中期ビジョン「活力あるつやまのあしたのために」にそった事業展開を行ってまいりました。

その他にも、津山青年会議所野球部監督として、岡山ブロック優勝、中国地区準優勝という成績を残し、高い目標を掲げ本気で取り組んだからこそ得られる、一体感や達成感を今後を担っていくメンバーに与えることが出来、意識の向上につなげました。

また、LOM外では日本青年会議所アミューズメント部会第17代部会長として「アミューズメントの力が、人に地域に活力を与える」の信念のもと事業を展開してまいりました。

最後になりますが、ご支援ご協力いただきました皆様方に感謝を申し上げて報告とさせていただきます、素晴らしい1年を過ごさせていただきました、ありがとうございました。



副理事長 長谷川 毅

本年度、光岡理事長が掲げられる「我々が"つやま"に活力を与える 今こそ和っしょい！

心一つに、力強く盛り上げていこう」のもと室担当副理事長として務めさせていただきました。現在の私達を取り巻く環境は、日々刻々と大きく変化をし、先行きの見えない経済の低迷や政治の混乱に伴い全体の活気が薄らぐと共に自己責任と役割を果たさない、他人任せの体質が感じられる時代となってきています。そのような中、我々は青年経済人としてこの地域を盛り上げるにあたり、率先してものごとに取り組む勇氣、全力で取り組む勇氣を持ち自らが率先してつやまを導いていくという気概をもって、積極果敢に行動していかなければなりません。また活力あるまちをつくる為には、地域の魅力を再発見しながら

つやまに誇りと愛着がもてる地域をつくらなければなりませんその事により地域全体が一体となり盛り上げていく事で笑顔と活気溢れる地域となっていくと考えます。

また、これからの会員減少が予想される事に伴いメンバー一人ひとりの責任や役割が多くなる中で、我々がいかに津山青年会議所の魅力や取り組む姿勢を示していかなければなりません。

そのような事を念頭に置き本年度は、両室の元に様々な事業が展開され今後の青年会議所の運動活動に大いに参考になる事業が展開されました。次年度以降も本年まで培われた事を参考にして頑張っていきたいと思えます。一年間ありがとうございました。



専務理事 土居 大介

本年度、光岡理事長の掲げるスローガン「我々がつやまに活力を与える 今こそ和っしょい！ ~心ひとつに力強く盛り上げていこう~」のもと（一社）津山青年会議所の専務理事として一年間勤めさせていただきました。本年度は中国地区コンファレンス2013を筆頭に美作国建国1300年記念事業や宮古島での青少年健全育成事業と多くの対外的事業が開催され対内・対外的にも多くの調整が必要な年であり、予想以上に忙しい役職であると感じ、自分が専務理事として担いを果たしているかどうかと考えることもありましたが、多くの方々に叱咤激励や、ご協力をいただいたおかげで一年間全うすることができました事を感謝申し上げます。この経験を生かし、次年度以降も一生懸命青年会議所運動・活動に邁進してまいります。最後になりましたが、専務理事として指名いただきました光岡理事長に感謝申し上げるとともにお世話になりました皆様に御礼を申し上げます。一年間ありがとうございました。

月 日	事 業 ・ 行 事	月 日	事 業 ・ 行 事
1月1日	迎春の会	7月7日	国際アカデミー（福山）
1月10日	津山JC OB総会	7月8日	つながりサポーター研修会②
1月17日	例会・定時総会・新年懇親会	7月12日	国際アカデミー（福山）
1月18日	中国地区ナイト（京都）	7月14日	「南の島の大冒険 ～つかもうぜ！ひとつながりの秘宝～」津山編
1月19日	京都会議 友好JC交流会議 全城連第1回役員会・通常総会・交流会 日本JC総会 中国地区協議会会員会議所会議（京都）	7月15日	「ブロックアカデミー」～立ち向かう気概と覚悟・強固な精神の育成～
		7月18日	つながりサポーター研修会③
1月20日	京都会議	7月19日	例会・臨時総会
	宮古JC 歓迎会（宮古JC 来津）	7月20日	サマーコンファレンス（横浜）
1月26日	岡山ブロック協議会会員会議所会議（玉野）	7月21日	サマーコンファレンス（横浜）
1月31日	岡山ブロックOB総会	7月22日	中間監査
2月6日	第1回県北4JC役員会議（真庭）	7月25日	「南の島の大冒険 ～つかもうぜ！ひとつながりの秘宝～」
2月12日	野球部団結式	7月26日	
2月19日	例会	7月27日	
2月23日	岡山ブロック協議会会員会議所会議（高梁）	7月28日	
2月24日	LOM新会員研修会（研修編）	8月2日	模擬天守完成披露式典
2月25日	岡山ブロック全体会議	8月3日	津山納涼ごんごまつり
3月10日	日本JC 総会	8月4日	
	復興創造フォーラム	8月10日	津山城めぐりスタンプラリー
3月16日	岡山ブロック新会員研修会	8月29日	例会・納涼会
3月19日	例会	8月21日	会員拡大 異業種交流会①
3月24日	2020年の森 管理育成	9月1日	中国地区野球大会（笠岡）
3月29日	第2回県北4JC役員会議（新見）	9月8日	（一社）井原青年会議所50周年記念式典・祝賀会
3月30日	岡山ブロック協議会会員会議所会議（岡山）	9月14日	岡山ブロック協議会会員会議所会議（津山）
4月11日	指導力開発委員会拡大委員会	9月15日	中国地区野球大会（準決勝・決勝）
4月19日	例会	9月18日	例会
4月20日	岡山ブロック協議会会員会議所会議（笠岡）	9月19日	観月と邦楽の夕べ
4月22日	会頭公式訪問	9月20日	会員拡大 異業種交流会②
4月24日	県北4JC合同例会（津山） 岡山ブロック会長公式訪問（県北4JC）	9月25日	県北4JC反省会（美作）
		9月29日	岡山ブロックサッカー大会
4月28日	岡山ブロック「わたしたちの日本国憲法を考えよう」 未来への約束 ～あなたとつながる新しい憲法～	10月4日	日本JC総会
		10月5日	全国大会（奈良）
5月10日	和っしょい津山城ボランティア説明会	10月6日	全国大会（奈良）
5月11日	岡山ブロック協議会会員会議所会議（倉敷）	10月18日	県北4JCじゃがいも大会（新見）
5月15日	岡山ブロックじゃがいも大会	10月19日	例会
5月19日	例会	10月24日	岡山・津山交歓会
5月24日	市長ふれあいトーク		第2回監督キャプテン会議
5月26日	（一社）新見青年会議所45周年記念式典・祝賀会	10月27日	つやままつり
5月27日	懇親野球大会監督キャプテン会議	11月7日	OB会ゴルフコンペ並びに追出しコンペ
6月9日	岡山ブロック大会 岡山ブロック協議会会員会議所会議（美作）	11月10日	市民憲章デー
		11月11日	指導力開発委員会拡大委員会
6月13日	津山商工会議所青年部との交流会	11月12日	岡山ブロックOB総会
6月17日	つながりサポーター研修会①	11月14日	2020年の森 拡大プロジェクト
6月18日	例会・臨時総会	11月19日	例会
6月23日	岡山ブロック懇親野球大会（倉敷）	11月25日	第2回じゃがいもキャプテン会議
6月26日	岡山ブロック参院選公開討論会	11月30日	岡山ブロック協議会会員会議所会議（岡山）
6月28日	中国地区会員会議所会議（津山）		岡山ブロック卒業式
6月29日	中国地区コンファレンス2013	12月7日	中国地区協議会会員会議所会議（鳥取）
6月30日	（一社）真庭青年会議所50周年記念式典・祝賀会	12月19日	例会・通常総会・望年会
7月6日	津山城ガイドボランティア研修会		



中国地区コンファレンス2013実行委員会

副理事長 河原 淳

■事業報告

本年度実に17年ぶりの中国地区大会（96年当時はフォーラム、今回はコンファレンスの名称）を、すべてとの「つながり」～未来の希望につながる勇壮なる「中つ国」の創造～をテーマに、開催地LOMの想いを込めたスローガン、津山で和っしょい!!中国地区コンファレンス2013～全てとの「つながり」を活かした輝ける地域の創造～を軸に準備、設営、実施・開催に向け、様々な運動を展開してまいりました。さらに、本年は美作国建国1300年の年であり、津山という地域は美作国の国府として、また津山城を中心としてこの地域の中核をなす役割を担ってきた中山間都市であります。古くから様々な業種、身分、洋学をはじめとする思想や価値観が交錯し、風土・風習を形成してきた津山において、参加していただいた方の記憶に深く刻まれ、今後の各々が活躍する地域において、広がりのある活動につながる大会を念頭に、前段の準備や設営に従事し、実施・開催に至りました。

中国地区コンファレンス2013実施・開催において、開催地域の関係者を来賓として招き、地域の方々が青年会議所に対してどういった期待を寄せているのか、またそれまでにおける運動の影響は地域にどう作用しているのかという地域における青年会議所の立ち位置を確認し、また青年会議所のこれからの目的や展望、推進・発信する運動や理念を発表する機会として、まちのひととJAYCEEとの志が「繋がる」記念式典を行いました。さらに記念式典内での褒章事業では、中国地区内各地の事業に注目していただき、お招きした来賓、参加した青年会議所メンバーがそれぞれの地域で取り組む運動の一助、そして今後の行政運営における材料として持ち帰っていただける内容と致しました。メインフォーラムでは領土・領海問題、エネルギー問題を2部構成にし、国家レベルでの問題や課題を中国地域内で実際に起こっている、また起こりうる事象を軸に一般市民、JCメンバー共に共通認識として、さらにそういった問題意識を共有することを目的に開催いたしました。そして地域活性化からいちでは、中国5県の「たから」を各地ブロックの方々から、また、開催地の津山においても美作圏域内の「たから」を持ち寄り、互いの地域の誇りとなりうる「たから」の情報発信、交換の場とし、中国地区の持つポテンシャルを地域に住む人々の共通の「たから」として、この「中つ国」への愛着と誇りを醸成し、「勇壮なる日本」へと「繋がる」大会として展開をいたしました。

そして、今大会の開催にあたり、中国地区内各地会員会議所メンバーへ、そして津山圏域を含めた一般の方々へ、中国地区コンファレンスを通じて郷土がもつ可能性と、山間地域特有のふるさとという温もりの発信が適った大会構成となったことを、中国地区協議会、岡山ブロック協議会、津山JCメンバー、さらに地域活性化からいちを中心にご協力、ご支援いただきました津山圏域の親愛なる皆様へ深く感謝し、また今日まで築いて来られた（一社）津山青年会議所の信頼と実績が今大会を成功へと導いたことを自負し、次回開催地へそういった想いをつなげることを使命と捉え、邁進していく所存でございます。一年間誠にありがとうございました

□決算報告

会議費	12,750
	<hr/>
	12,750

総務拡大委員会



委員長 西 口 元 庸

■事業報告

本年、法人格変更後の実質的な1年目という年としてスタートをいたしました。法制度の変更により、津山青年会議所独自の性質と法制度との矛盾点など多くの問題もあります。今後、青年会議所としてこれまで行ってきた運動・活動と継続してゆく上で、その矛盾点をどう解決ゆくのかが今後の課題であると考えます。

また、鶴山を考える会では、本年度は晴天の中、「観月と邦楽の夕べ」が開催され、青年会議所としても、例会日を変更して動員等で参加を行い、多くメンバーで参加しました。このことに対して河本会長より感謝の言葉をいただいております。今後も青年会議所として、津山城を核にした運動展開を考えると、切ってもきれない団体であると思います。今後も多くのメンバーで参加し多くの気づきや学びをいただいでほしいと考えます。

また、今年度は会員拡大として、入会対象者のリストの充実を図り、メンバーや特別会員の皆様のご協力で、多くの対象者をリストアップすることができました。しかし、すべての対象者に対してのアプローチは行うことができませんでした。今後もリストがさらに充実しそして「活きたリスト」となるように今後も対象者を増やすことはもちろん、対象者の情報を毎年充実させていくこと、異業種交流会等を開催することや対象者を実施事業の動員やボランティアなどで参加していただくなど、我々が行っている運動活動の内容や意義を知ってもらうこと、そして何より現在の青年会議所の勢いというものを伝える機会や方法を考えることが重要であると考えます。また、会員拡大は青年会議所すべての課題であり、全員で取り組まなくてはいけない大きな課題であると思います。今回は7名の新会員の入会となりましたが、会員減少を止めることはできませんでした。しかし、その中で多くのメンバーの皆様から熱い想いを対象者に注いでいただいた結果であると心より感謝しております。

8月21日 第1回異業種交流会開催

9月20日 第2回異業種交流会開催

□決算報告

会議費	0
	0



ひとづくり室

室長 須江 健治

■事業報告

本年度 我々が「つやま」に活力を与える「今こそ和っしょい！」～心一つに力強く盛り上げていこう～のローガンの下、微力ながらひとづくり室のベクトルを合わせ J C 運動・活動に室長として取り組ませていただきました。

本年度は中国地区コンファレンスの主管をさせていただき、ひとづくり室は式典、フォーラムの補助、大会パンフレットやロゴの制作、登録状況の把握、記念品の制作そして記録活動などを行いました。しっかりとそれぞれのパートを各担当者が真剣に取り組み、滞りなく大会を運営した経験を その後の委員会活動に大きく活かすことが出来ました。

会員開発委員会としては迎春の会にはじまり、新年懇親会、納涼会、望年会を開催いたしました。LOM全体を引っ張り、会員の資質の向上を行いながら活動してまいりました。

指導力開発委員会においては、LOM新会員研修会（導入編、研修編）を通じて新会員10名の研修をしっかりと行いました。また会員の研修として中西先輩や岡山 J C O B の吉村先輩をお招きし講演会を開催し、己を切り拓き一歩踏み出す勇気を持っていただくことに拘った委員会運営を行いました。

広報渉外委員会は対内紙「あした」の発行やホームページを通じてLOMの運動・活動が広く「伝わる」ように広報活動を行ってまいりました。また、渉外においては「うってでる」活動を心掛け、市役所の様々な部署の方と交流会を開催しました。また、メンバーが目的意識を持ってLOM外の事業へ参加するよう促し、LOM内の一体感を強めていきました。さらに、津山市民憲章推進協議会事務局長として活動させていただき第42回津山市民憲章デーを開催することが出来ました。岡山県青少年教育センター閑谷学校次長の徳光泰弘氏による『「論語と家庭教育」～子どもに豊かな感性を～』をテーマとした記念講演や津山市立中道中学校2年生の光岡海音さんの国連大使としての活動報告や小学生、中学生、高校性、一般の方より1300点以上のご応募をいただいた作文、書道、絵画の作品の発表、展示、表彰を行いました。マスコットキャラクター「さくらん」の普及の為、女性や子どもにもつけていただきやすいクリップ式の缶バッジを制作し会場で販売致しました。その後、入賞作品をアルネ津山4階の図書館前に11月10日から21日まで展示いたしました。作品募集や作品展示を通じて幅広い世代と、多くの市民に市民憲章を知っていただく機会となりました。最後になりますが、当日まで作業や応援、協賛という形でのご参加等、沢山の方々にご協力をいただきありがとうございました。津山のまちをもっと明るく豊かで、住みよいまちにするためにも今後ともご支援・ご協力の程宜しくお願い致します。一年間ありがとうございました。

□決算報告

対外誌「あした」	346,500
会議費	0
	<hr/>
	346,500





まちづくり室

副室長 有本 紳介

■事業報告

2013年度まちづくり室では、光岡理事長の掲げられた、我々が'つやま'に活力を与える今こそ和っしょい！～心一つに、力強く盛り上げていこう～のスローガンのもと、(一社)津山青年会議所の歴史・伝統を継承発展させ、我々の存在意義をまちに明確に示し、まちづくり運動を展開してまいりました。

心の教育推進委員会では、これからの未来を担う子どもたちに、人とひとのつながりの中で、他人を思いやる心や自らを律する気持ちといった豊かな人間性を育んでもらうことを目的に、南の島の大冒険～つかもうぜ！ひとつながりの秘宝～を宮古島の地で開催させていただきました。小学校4・5・6年生を対象に津山圏域の子どもたち、東日本大震災で岡山に非難している子どもたち、宮古島の子どもたち56名が参加し事業を行いました。たくさんの方々の協力のおかげで、この事業が子どもたちの心の中にずっと強い記憶として残り、強く優しく笑顔で今後の人生をたくましく生きてくれると思います。

まちづくり委員会では、地域のたからの魅力と価値を学ぶことを通じて、自分たちの地域に誇りと愛着をもってもらい、身近な人にその魅力と価値を伝えていくことで、地域に関心を向け、郷土愛を持った人を増やすことを目的に、津山城めぐりスタンプラリーを開催させていただきました。当日は美作国建国1300年記念事業の模擬天守の展示期間で相乗効果もあり、より事業の目的を知っていただけたと思います。参加した津山圏域の小学校4・5・6年生がこの体験を家族や友達など身近な人たちに伝えていくことで、長年継承してきた津山圏域のたからを今後も大切にそして誇りに思い、今後の人生でもつやまというまちを愛し、過ごしてくれると思います。

2013年度、まちづくり室では、心の教育推進委員会、まちづくり委員会がそれぞれの着眼点と切り口で、愛するまち'つやま'のため一年間邁進し、すばらしい心の記憶という財産を残せたと思います。

最後に、この2委員会の事業開催において、多くの力を貸していただいたメンバーの皆様、そして事業にご協力いただいたさまざまな方に感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

□決算報告

0
0



美作国建国1300年プロジェクト

キャプテン 龍門 慶輝

■事業報告

本年度、美作国建国1300年プロジェクトキャプテンを勤めさせていただきました、龍門慶輝です。2013年度は、岡山県北の美作地域の10の市町村で構成される、豊かな自然や、歴史の情緒が残る美作国が建国から数えて1300年という記念すべき年にあたります。まず、この記念すべき2013年を美作地域の新たな時代に向けた活力ある地域にする良い機会であると考え、地域の方々や他団体と一体となり協力し事業を推進してまいりました。さらに、美作国の歴史・伝統・文化を調査・研究し、地域の方々や他団体とのネットワークを活用し、共に美作地域の歴史・伝統・文化に今一度目を向け、地域のたからを再発見し、この美作地域に暮らす人々が自分達の暮らすまちに誇りと愛着を抱けるように、美作国建国1300年実行委員会と連携を取りながら事業を展開しました。

事業としましては、「美作国建国1300年記念事業 津山城復元～今こそ和っしょい！津山城～」を実施いたしました。2分の1スケールでの模擬天守を作成し、多くの市民ボランティア、ご協賛いただいた企業の方、行政の方、また、(一社)津山青年会議所のメンバー、多くのひとを巻き込んだプロジェクトとなりました。事業をするにあたり、様々な問題がでてきましたが、つやまのシンボルである津山城を創り上げることで、つやまの皆様に誇り、愛着を持っていただき、ひとつの目的に一緒に向かうことができ、展示期間も大きな問題なく無事終了できたことを感謝いたします。この事業を通じて、地域の魅力を発信でき、そして地域に住む皆様に愛着や誇りを少しでも感じていただけたと思います。簡単ではございますが、1年間の感謝とさせていただきます。ありがとうございました。

□決算報告

津山城天守復元～今こそ和っしょい！津山城～	3,000,000
会議費	3,000
	<hr/>
	3,000,000



まつりプロジェクト



キャプテン 鳥越 俊之

■事業報告

本年度、(一社)津山青年会議所まつりプロジェクトでは、先輩方が長年想いを持って参画し引継いでこられた津山のまつりに対してメンバー丸となって参画してまいりました。8月3日(土)4日(日)に開催されました第35回津山納涼ごんごまつりIN吉井川には実行委員会企画部会メンバーとして参画し、各分科会にて年初より企画・準備を進めてまいりました。この伝統ある津山のまつりをより活力溢れる市民総参加型のまつりにする為にはどのような企画がふさわしいのか。また我々のまつりに対する想いを市民の方により深くご理解いただき、企画する側と参加する側の区別ではなく、全ての人が心から感動を共有できるまつりを目指して連日にわたり会議を重ねました。初日の3日(土)はオープニングセレモニーからステージでは多くのイベントが盛大に開催され、吉井川河川敷では縁日ごんごをはじめ多くの市民の方の参加のもと暑い中でもかなりの賑わいを見る事が出来ました。また初日のメインイベントでありますごんご踊りでは30組2000名を超えるおどり連の方々にご参加いただき大きな掛け声と共にごんご囃しを盛大に踊っていただきました。二日目の4日(日)はあいにくの雨となり、最後の大花火大会に向け調整を重ねる場面が多い中、各分科会と連携を取りながら事故もなく無事まつりの運営を行う事が出来ました。各関係者の皆様には各場面でご協力をいただきまして誠にありがとうございました。また本年度の新たな試みといたしまして、昨年に津山の新しい総踊りとして創出された「和っしょい!津山」を踊るイベント「和っしょい!津山踊り甲子園」も二日目に開催をさせていただきました。津山圏域より4団体の踊り連にご参加いただき盛大に開催する事が出来ました。次年度以降に向けて更なる普及を行っていきたく考えております。まつりの開催に向け、ご協賛のご支援ご協力をお願い、また環境への取組みとしてペットボトルの回収を行いました。メンバーの皆様方には心強いご協力をいただきまして誠にありがとうございました。次年度も更なる活力溢れる市民総参加型のまつりを目指して引継ぎをしっかりと行い、全力で参画してまいりたいと思います。

また、10月に開催されました津山秋まつりに関しましては、本年度は新たな試みとして10月20日(日)には大隅神社の神輿担ぎに参画をさせていただきました。大隅神社の神輿はまだ鳥取神輿保存会の方々のご指導のもと、神輿が担がれているという現状があります。(一社)津山青年会議所としましても、地域に必要とされる団体となるべく今回の神輿担ぎに参画をさせていただきました。当日は雨の中での開催となりましたが、地元の方々と共に活気溢れる時間を共有することができ、素晴らしい経験をさせていただいたと感じております。そして10月27日(日)には徳守神社の神輿担ぎに参画をいたしました。徳守神社の神輿には長年先輩方から想いを持って参画させていただいており、伝統・歴史の重みを深く感じさせていただきました。まつりに携わる全ての方々の熱い想いを感じる中、まつりの素晴らしいさを改めて心から感じる事が出来ました。両日共に本年度美作国建国1300年という記念すべき年ということで、だんじりが集結し盛大な盛上りを見る事の出来た年であったと思います。この記念すべき年に参画する事ができ、メンバー一同、今回の経験をしっかりと今後のまつりへの参画に活かしてまいりたいと思います。

最後に一年間全力で支えてくれた(一社)津山青年会議所まつりプロジェクトメンバーをはじめ(一社)津山青年会議所のメンバーの皆様、また多くのご協力とご指導いただきました各団体の皆様には心から感謝をいたします。次年度以降も今年の経験をしっかりと活かしてまいります。本当にありがとうございました。

□決算報告

会議費	0
	0





会員開発委員会

委員長 菅田 拓平

■事業報告

本年度、会員開発委員会では、光岡理事長の掲げられた「我々が'つやま'に活力を与える。今こそ和っしょい！～心一つに、力強く盛り上げていこう～」のスローガンのもと、会員の資質向上に向けて全力で運動・活動に取り組みました。「迎春の会」では、光岡理事長の所信を拝聴し、各委員長・キャプテンがこの一年に懸ける想いを聴くことで、メンバーが想いを共有し、意識の向上を図ることができました。「新年懇志会」では、津山圏域各関係諸団体の方々や、特別会員の方々に本年度の運動・活動方針と新会員を含めた体制を披露し、交流・親睦を行いました。「納涼会」では、メンバーが一丸となっておもてなしをすることで、特別会員の方々へ本年度の運動・活動に対してのご理解やご協力に感謝をいたしました。「望年会」では、卒業されるメンバーのJ Cライフから学びと気づきをえることができ、各種伝達式を通して次年度へ向けて望む会を行いました。さらに、本年度は津山の地で中国地区コンファレンス2013が開催され、当委員会がこの式典の担当として取り組みました。このような会の設営に携わる機会は希望してあるものでなく、本当に学びと気づきのある経験をさせていただけました。

一年間を通して、光岡理事長をはじめとします理事・役員の皆様方には多くのご協力とご指導を賜り、本当にありがとうございました。そして、この一年間支えてくれた委員会メンバーに感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

1. 月例会の企画・運営統括および通知の発行
 - イ) 担当月における例会の企画・運営の実施
 - ロ) 他委員会における例会の企画・運営の統括
2. 会員開発及び会員拡大に関する事項
 - イ) 迎春の会の実施 2013年1月1日
3. 会員及び委員会の表彰具申
 - イ) 卒業式の実施 2013年12月19日
4. 会員相互の友愛親睦及び体育厚生
 - イ) 新年懇親会の開催 2013年1月17日
 - ロ) 納涼会の開催 2013年8月19日
 - ハ) 望年会の開催 2013年12月19日
 - ニ) 特別会員との交流（追い出しコンペ） 2013年11月7日

□決算報告

迎春の会	26,776
新年会	728,101
納涼会	590,661
忘年会	477,858
会議費	0
	1,823,396





指導力研修委員会

委員長 高橋 拓己

■事業報告

本年度、指導力開発委員会では、「積極的に行動～一步前へ～」をテーマに何事にも取り組む勇気を持つことの出来る人材の育成を目指しました。

LOM新会員研修会（導入編）

2012年12月11日(火)～2013年1月17日(木)

12月11日の顔合せ会から1月17日の新年懇親会まで、委員会メンバー一丸となり礼儀・礼節を持って取り組みました。新会員同士が積極的に意見をぶつけ合うなかで徐々に絆が芽生え始めました。また、新会員が最後までやり遂げることが出来た要因のひとつに同じ時間を共有し共に励まし、助け合うことが重要だったと感じております。

LOM新会員研修会（研修編）

2013年1月18日(金)～2月24日(日)

新会員が今回の事業で得た知識を今後の(一社)津山青年会議所運動・活動において活用できるような研修会を心がけました。委員長・キャプテンを経験した先輩・現役メンバーに当時のお話や、一年間やり遂げた後の気持ちを伝えていただくことで、(一社)津山青年会議所の歴史・伝統・信頼を感じることができました。

指導力開発委員会 拡大委員会

2013年4月11日(木) 19:00～21:20

本年度は、多くの事業を控えメンバーが一丸となってJC運動・活動をするためには、自分の責任と役割を自覚し、志高く行動するメンバーを一人でも増やし組織の底上げをする必要があります。そこで、3年未満のメンバーを対象に、「青年会議所運動・活動の責任と役割」について中西省吾先輩にご講演いただきました。今後のJC運動・活動における役割を理解し、自分の責任と役割について考え、お互いに磨き合い高め合うことの出来る研修の場としました。

指導力開発委員会 拡大委員会

2013年10月30日(水) 19:00～20:30

(公社)岡山青年会議所の特別会員吉村武大先輩にご講演いただきました。吉村先輩には、青年会議所に入会するきっかけや三信条について取り組む姿勢について目的を持って運動・活動していく大切さをお話していただきました。自分自身の視点で見れば、青年会議所運動・活動に取り組む事で、多くの物を得ることができ、自分自身の成長につながると考えます。(一社)津山青年会議所メンバーが講演を通して気づいたことを今後の青年会議所運動・活動に邁進していただけると確信いたしました。

□決算報告

新会員研修（導入編）	37,460
新会員研修（研修編）	54,154
会議費	6,000
	<hr/>
	97,614





広報渉外委員会

委員長 脇 優 太

■事業報告

2013年度一般社団法人津山青年会議所広報渉外委員会では、中国地区コンファレンス開催や美作国建国1300年を迎えるという恵まれた舞台に感謝し、地域社会に『うってでる』渉外活動をしました。創立55周年を経て築かれた歴史・伝統・信頼を再認識したうえで、時代の流れや変化に敏感に対応し、的確な情報をメンバーへ伝えることが必要と考え、リニューアルしたHPで、タイムリーに情報発信し、1・5・8・9・12月の年間計5回の対内誌「あした」の発行で、活動記録を次年度に残し、(一社)津山青年会議所の運動・活動を内外に情報発信しました。とくに本年度は(一社)津山青年会議所が中国地区コンファレンス・(一社)美作青年会議所が第49回岡山ブロック大会・(一社)真庭青年会議所が創立50周年記念式典・(一社)新見青年会議所が創立45周年記念式典という岡山ブロック内でも注目される事業があり、全力で取り組んだ結果、県北4J.Cの「つながり」がさらに深まったことを実感しています。

1. 渉外に関する事項	※ (一社)津山青年会議所メンバー参加人数
県北4J.C新旧合同役員会議	2013年11月29日 23名 津山
岡山ブロック協議会 出向者予定者全体会議	2013年12月22日 21名 岡山
京都会議	2013年1月19日 45名 京都
(一社)宮古青年会議所歓迎会	2013年1月20日 62名 津山
第1回県北4J.C合同役員会議	2013年2月6日 22名 真庭
岡山ブロック協議会 全体会議	2013年2月25日 35名 岡山
復興創造フォーラム	2013年3月10日 7名 仙台
新会員研修会 LOMナイト	2013年3月16日 38名 津山
第2回県北4J.C合同役員会議	2013年3月29日 16名 新見
中国地区岡山ブロック協議会 会頭公式訪問	2013年4月22日 28名 岡山
(一社)新見青年会議所 創立45周年記念式典	2013年5月26日 26名 新見
第32回全国城下町シンポジウムさぬき京極大会	2013年6月6日 4名 丸亀
第49回岡山ブロック大会	2013年6月9日 51名 美作
津山商工会議所青年部・津山青年会議所 交流会	2013年6月13日 32名 津山
中国地区コンファレンス	2013年6月29日 52名 津山
(一社)真庭青年会議所 創立50周年記念式典	2013年6月30日 36名 真庭
サマーコンファレンス	2013年7月20日 8名 横浜
県北4J.C合同例会反省会議	2013年9月25日 15名 美作
第62回 全国会員大会 奈良大会	2013年10月6日 35名 奈良
第39回岡山J.C・津山J.C交歓会	2013年10月24日 47名 津山
津山青年会議所会員・津山市職員 意見交換会	2013年11月20日 21名 津山

□決算報告

対内誌 「あした」	337,071
ホームページアウト作成 及び 保守・管理	52,500
サーバーレンタル料	12,600
ドメイン使用料	7,350
記録用メディア	1,000
	<hr/>
	410,521



まちづくり委員会



委員長 福田 邦夫

■事業報告

2013年度のまちづくり委員会の事業は津山圏域の地域のたからである津山城を舞台に、地域に誇りと愛着といった郷土愛を持っていただくことを目的に事業を進めてまいりました。美作国建国1300年の記念事業の担当委員会として、「津山城天守復元～今こそ和っしょい！津山城～」の記念事業の展示期間中に津山城めぐりスタンプラリーの準備を進めることは当初考えていた以上に大変な苦労がありました。この点については委員長として己の認識の甘さと未熟さを痛感し、設営面での準備不足や説明不十分な点については、多くの方々にご迷惑をおかけしたことを反省しております。同時に、まちづくり委員会メンバーをはじめとして（一社）津山青年会議所メンバーに助けられたことに、強い感謝の気持ちを抱いております。皆さまのお力添えがなければ事業は成立しなかったと考えております。まちづくり委員会の委員長として事業を計画し、実行していく中で多くの学びや気づきを得ることができました。その中でも計画では予想していなかったトラブルや困難が発生した際、メンバーや外部協力者との信頼や友情、思いやりや優しさ、そして、感謝の気持ちで結ばれた絆が力となり、乗り越えさせてくれるということに感じました。本年度のまちづくり委員会、（一社）津山青年会議所が、どのような問題が起ころうと、解決できる強い絆で結ばれたメンバーに恵まれていたからこそ、事業を全うできたと確信しております。今後も、（一社）津山青年会議所がまちづくり運動を継続していく中で、結果だけでなく、人の絆を大切にしていって欲しいと願っています。強い絆で結ばれた（一社）津山青年会議所であるならば、どのような困難も乗り越え、「自分たちのまちは自分たちで創る」という気概を持ち、明るい豊かな社会も実現すると確信しております。1年間ありがとうございました。

□決算報告

津山城めぐりスタンプラリー	269,329
会議費	0
	<hr/>
	269,329



心の教育推進委員会



委員長 橋本安弘

■事業報告

心の教育推進委員会では、青少年健全育成の一環といたしまして、「つながり」をテーマに津山市と姉妹都市である沖縄県宮古島市にて、小学生4・5・6年生を対象とした民泊・キャンプ事業「南の島の大冒険 ～つかもうぜ！ひとつながりの秘宝～」を開催させていただきました。この事業は、これからの未来を担う子どもたちが、人とひとつながりの中から、他人を思いやる心や自らを律する気持ちといった豊かな人間性を育むことを目的に開催しました。また、この事業には（公社）日本青年会議所「笑顔デザインプロジェクト」から、東日本大震災の影響で岡山県内に避難している小学生にも参加していただきました。東日本大震災で避難している子どもたちの心理的不安を解消・軽減し、本来の笑顔や活発な姿を取り戻して健全な成長をサポートすること、そして、東日本大震災で避難している子どもたちと津山圏域の子どもたちがつながることで、この震災を風化させることなく、被災地に心を寄せて支援し続けることを目的としました。

当日は津山圏域の子どもたち34名、東日本の子どもたち6名、宮古島の子どもたち15名に参加していただきました。宮古島では、初めて出会う子どもたち、サポーター、民泊先の方々とふれあいや、海体験、スタンプラリー、工芸体験、ジュノーケル、民泊体験、キャンプ体験等のプログラムを通じて、人とひとつながりの大切さを感じ、人は一人で生きているのではなく、多くの人とひとつながりの中で生かされているという感謝の気持ちを育むことができました。また、予め勉強してきた「私のまちのいいところ」の発表やご当地踊りの披露を行ったことで、宮古島の文化と自分の住んでいる地域の文化の違いを考えることにより、家族や自分の住んでいるまちとひとつながりを感じることができました。そして、宮古島での二日間の民泊体験の中で、近所の子どもたち、おじさん・おばさん、おじいちゃん・おばあちゃんを含んだ食事や、夏祭りの参加、花火や星座観察等で「古き良き日本の心」を感じることができました。そして、事業後には、子どもたち同士、サポーター、民泊先の方々と感謝の手紙の交換等が行われました。この事業が子どもたちにとって一生忘れないかけがえのない時間となり、ひと夏の貴重な体験が心に刻み込まれたと思います。そして、子どもたちは大きく成長し、一皮も二皮もむけてより逞しくなりました。今後、この未来を担う子どもたちが、この事業から学んだ人とひとつながりを大切にしながら、強く優しい大人へと成長してくれることを心から願っています。

この一年間、圧倒的な努力で家庭・仕事・JCすべて頑張り、未来を担う子どもたちのために信念を貫き行動し、男気・義理人情を持って仲間の事業に参加してくれた「前のめり」委員会メンバーには感謝の気持ちでいっぱいです。また、宮古島での事業は2006年「感動！美しき日本」から7年振りの開催となり、川嶋健文先輩をはじめとします2006年度心の教育推進委員会メンバーの皆さまには大変お世話になりました。最後に光岡理事長をはじめとします津山青年会議所メンバーの皆さまからいただいたご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。一年間ありがとうございました。

□決算報告

南の島の大冒険

～つかもうぜ！つながりの秘宝～	8,330,292
	8,330,292





2020年の森プロジェクト

キャプテン 寺本 健志

■事業報告

2013年度、2020年の森プロジェクトでは、管理育成事業と、公益的的事业をして行くうえで、調査・研究活動をして参りました。私の力不足もあり実現には届きませんでした。事業といたしましては、「管理育成事業」と、今後、「2020年の森の活用方法について」を開催いさせていただきました。

「管理育成事業」では、沢山の現役メンバーと、14名の新愛なる特別会員の方々が力を合わせ、36年間続く2020年の森をしっかりと継承することができました。「2020年の森の活用方法について」では、現役メンバーに2020年の森で具体的に何が必要かを考えていただき、素晴らしいアイデアが生まれました。

また、本年度は23メートルの新作業道の延長・拡幅を行い今後の活動が楽しみになった一年であったと感じています。

また、2020年の森の活用方法では、歴代キャプテンにその年の想い、またどのような活動をして来たかを講演してもらい、外部からは津山市加茂町の片岡伸吾氏による「森の可能性について」をテーマにご講演していただきました。

あと、片岡伸吾氏によるチェーンソーカービングでの2020年の森の間伐材を使い、看板を作成いたしました。

最後になりましたが、2020年の森の事業に参加していただいた現役メンバーの方々、2020年の森を今まで大切に守り育てていただいた特別会員の方々及びご協力いただいた関係者の皆様、そして私を支えてくれたプロジェクトメンバーに感謝申し上げます。

一年間本当にありがとうございました。

□決算報告

管理育成	51,450
	<hr/>
	51,450




出 向 者 報 告


日本青年会議所 復興支援委員会

委 員	鈴木 大介
<p>本年度、(公社)日本青年会議所復興支援委員会は3月10日セビオアリーナ仙台で復興創造フォーラム2013の開催をスタートに、JC-AIDの普及推進、笑顔デザインプロジェクト、JC災害ネットワーク構築、BUY MADE IN TOUHOKU、JAYCEEの絆応援団といった事業を行いました。心の教育推進委員会で行った事業「南の島の大冒険〜つかもうぜ！ひとつながりの秘宝〜」では笑顔デザインプロジェクトを活用し、東日本大震災の影響で岡山県内に避難されている6名の子どもに参加いただきました。また、JC災害ネットワーク構築については次年度以降もLOMとして整備し、災害が発生した場合に活かせるように繋いで行きます。</p>	

日本青年会議所 未来の企業創造委員会

委 員	中川 洋平
<p>本年度、(公社)日本青年会議所地域グループ未来の企業創造委員会に出向させていただきました。委員会では企業活動・経済分野から「つながり」溢れる地域を再生するために、労働力問題への取り組み、新聞や産業の創出、JC青経塾の普及を行って参りました。私の所属した小委員会では主にJC青経塾の開催という担いがあり、全国様々な青年会議所へLOMサービスとして担当パートナーではありましたが、講演を行ってまいりました。</p> <p>またLOMサービスをさせていただくことにより、同じ出向メンバーや多くの方との交流が生まれネットワークが更に膨らみました。</p> <p>このような貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。</p>	
	

中国地区協議会 国家主権確立委員会

委 員	仲西 祐一
<p>国家主権確立委員会では6月29日に津山の地にて中国地区コンファレンスの中で、領土・領海フォーラム、『竹島が危ない!!』と未来エネルギー政策フォーラム『新たなる日本のエネルギー』を開催させていただきました。講師として、田母神俊雄氏、河野太郎氏、濱田利長氏をお招きして、日本の安全保障、エネルギー政策などについての講演を行いました。なかなか報道されない部分、様々な視点での考え方など、市民の方々と中国地区のJCメンバーが、領土問題とエネルギー問題にさらに深く関心を持つきっかけになったと確信できる事業となりました。</p> <p>出向する機会をいただけたことを本当に感謝しています。ありがとうございました。</p>	
	

岡山ブロック協議会 監査担当役員

幹 事	岸 本 洋 平
<p>今年度、村上雅人監査担当役員幹事として岡山ブロック協議会に出向させていただき、様々な事業に参加し、津山に居るだけでは得られない貴重な体験をして参りました。LOMが変われば例会の仕方一つをとっても異なり、懇親会での趣向を凝らした設えも見応えがあり、どのLOMも細心の工夫を以て取り組んでいる事が伝わりました。これらの経験をこれからの運動・活動に役立てて行きたいと思えます。また、ブロック幹事団として他LOMのメンバーとも親密に交流させていただき、ここで生まれた絆も宝物です。私自身、幹事として不行き届きな面もございましたが、無事にこの役目を全うする事が出来ました。皆様、本当にありがとうございました。</p>	

岡山ブロック協議会 監査担当役員

幹 事	平 井 伸 明
<p>2013年度は村上雅人監査担当役員幹事として岡山ブロック協議会に出向させていただきました。幹事として監査担当役員に随行し様々な事業に参画することで、岡山ブロックメンバーを身近に感じる事ができました。また、ブロック幹事団メンバーとの交流を持つ事で、LOMでの運動・活動だけでは知り得なかった、他LOMの個性に触れる事ができました。設営ひとつをとっても創意工夫を見ることができ、実際に携わる事で多くの気づきを得る事ができました。村上監査担当役員をはじめ幹事団メンバーには大変ご迷惑をおかけしましたとは思いますが、幹事の一人として一緒にさせていただいたことは栄誉と思っています。誠にありがとうございました。</p>	

岡山ブロック協議会 監査担当役員

幹 事	保 田 知 己
<p>本年度、岡山ブロック協議会監査担当役員幹事として、出向をさせていただきました。その中で、村上監査役員には、幹事の役割、そして出向ということに対して右も左もわからないところから、様々な場面でご指導を承りました。そのおかげをもちまして、役員団の皆様や幹事団の仲間との強い絆もでき、価値ある出向になったと確信しています。次年度以降も津山青年会議所の代表として出向させていただいているということに肝に銘じ、ロムに新たな気づきを持ち帰れるように、全力で望みたいと思えます。最後になりますが、出向させていただきました、光岡理事長、幹事をさせていただきました、村上直前理事長に感謝を申し上げます。</p>	


岡山ブロック協議会 総務委員長連絡会議

議 員	小 林 諭 卓
<p>本年度、岡山ブロック協議会総務委員長連絡会議へ出向させていただきました。有難うございました。JCI NOTHING BUT NETSキャンペーンの推進で大変多くの募金を皆様のご協力で集める事ができました。こちらの募金で、皆様方がアフリカの子どもたちをマラリアから守ってあげようという、とても優しい気持ちを改めて感じさせていただきました。岡山ブロックに出向という機会と貴重な経験を与えてくださいました光岡理事長をはじめメンバーの皆様感謝申し上げます。そして、皆様のご支援ご協力で1年間を終えることができましたことに、感謝いたしております。本年度経験したことを次年度につなげてまいりたいと思えます。本当に一年間有難うございました。</p>	


岡山ブロック協議会 輝ける地域再生委員会

副委員長	北村 暢 宏
<p>本年度、(公社)日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会輝ける地域再生委員会に副委員長として出向させていただきました。委員会事業としましては岡山ブロック大会にて、講師に海星高校野球部元監督の野々村直道氏をお招きして『強育論～感謝・歓喜～感動～』というテーマの元、現代社会において子育てをするには、まず我々大人がしっかりとした道徳心を持たなければならないといけないという内容の講演会を行いました。また、中国地区コンファレンスでは「岡山ソーシャルストック学生野外フェス及び地域活性化からいちブース出展」を開催いたしました。岡山ブロック協議会が調査・研究を行い新しいコンセプトのもと発掘したソーシャルストック＝地域のためからのPR・プレゼンテーション・商品提供を行いました。実際に見て触れて味わっていただくことで、地域のためからを知り、今後のまちづくり事業に活かさせていただけると思います。一年間を通じて色々な活動をさせていただき本当にありがとうございました。</p>	

岡山ブロック協議会 勇壮なるリーダー増強委員会

委員	河野 雅 樹
<p>本年度、勇壮なるリーダー増強委員会に出向させていただきました。委員会では斬新な創意に満ちたリーダー育成の為、様々な事業を行いました。新会員研修会では新会員が漠然とした目標ではなく、明確なビジョンを持てる研修会を実施しました。会員増強セミナーでは会員拡大の重要性を再認識していただき、熱き語り手を育成する為、上田博和先輩をお招きし、講演していただきました。そして、ブロックアカデミーはJC運動、会員増強へ向け強い信念と共助の精神を磨き、自分を開発し高めていただく為、龍行を行いました。今回出向することで、各LOMメンバーと知り合い、多くの刺激を受け、学ぶことができました。本当にありがとうございました。</p>	
	

岡山ブロック協議会 市民の未来選択委員会

委員	石原 雅 志
<p>本年度、中国地区岡山ブロック協議会 市民の未来選択委員会に出向させていただきました。市民の未来選択委員会では、中桐委員長のもと、「わたしたちの日本国憲法を考えよう」未来への約束～あなたとつながる新しい憲法～の事業を開催いたしました。市民の皆様は日本国憲法をより分かりやすく、より身近に感じていただきました。「参議院選挙マニフェスト型公開討論会」では、候補者の政策や想いを伝え、公開討論会の映像等にe-みらせんを活用いたしまして、市民の皆様は理解しやすいかたちで届けました。</p> <p>私自身も日本国憲法、国の未来を選択する選挙の大切さを学び、気づきを得て、大変貴重な経験となりました。この経験を活かして、今後の青年会議所での運動・活動に取り組んでまいります。一年間ありがとうございました</p>	
	

貸借対照表

2013年12月31日現在

(単位: 円)

科目名	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	6,271,919
現金	14,031
当座預金	
津山信用金庫本店	
普通預金	6,257,888
中国銀行津山支店	4,289,665
鳥取銀行津山支店	612,879
津山信用金庫本店	1,355,344
定期預金	
津山信用金庫本店	
立替金	
未収入金	372,047
事業仮払金	40,500
貯蔵品	
流動資産合計	6,684,466
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	6,801,966
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	239,940
預り金	3,070
源泉税預り金	3,070
その他預り金	
仮受金	0
流動負債合計	243,010
2. 固定負債	
	0
	0
固定負債合計	0
負債合計	243,010
III 正味財産の部	
一般正味財産	5,235,579
正味財産合計	5,235,579
負債および正味財産合計	5,478,589

正味財産増減計算書

2013年1月1日から2013年12月31日まで(単位:円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取入会金	350,000
受取入会金	350,000
受取会費	8,850,000
正会員受取会費	8,850,000
事業収益	9,641,428
登録料収益	9,091,520
業務受託収入	
雑収入	549,908
受取補助金等	1,500,000
受取国庫補助金	
受取地方公共団体補助金	1,500,000
受取民間補助金	
受取寄付金	1,422,300
受取寄付金	1,422,300
募金収益	
雑収益	558,787
受取利息	1,132
その他雑収入	111,655
津山市民憲章受託費	264,000
OB会通信費	182,000
経常収益計	22,322,515
(2) 経常費用	
事業費	16,620,428
会場設営費支出	201,213
人件費支出	30,000
会場費支出	61,295
設営費支出	109,918
企画・演出費支出	4,702,611
演出費支出	4,702,611
本部団関係費支出	1,014,000
設営費支出	1,014,000
渉外費支出	
講師関係費支出	42,622
記念品代支出	42,622
資料作成費支出	394,141
作成費支出	394,141
保険料支出	198,425
雑費支出	30,960
委員会運営費支出	10,036,456

管理費	5,084,224
会議費	412,300
役員報酬	
給料手当	2,340,837
退職給付費用	
福利厚生費	
旅費交通費	
通信・発送費	235,949
消耗品費支出	359,293
リース料支出	114,660
印刷製本費支出	599,500
光熱水料費支出	128,022
賃借料支出	442,193
業務委託費支出	31,500
インフォメーション関係費支出	
渉外費支出	302,950
雑支出	117,020
負担金支出	884,803
JCI負担金支出	52,628
日本JC負担金支出	340,000
地区協議会負担金支出	29,500
ブロック協議会負担金支出	118,000
国際協力資金支出	107,675
日本JC出向者負担金支出	60,000
We Believe購読料支出	177,000
経常費用計	22,589,455
当期経常増減額	△ 266,940
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	
(2) 経常外費用	
経常外費用計	
当期経常外増減額	
当期一般正味財産増減額	△ 266,940
一般正味財産期首残高	5,502,519
一般正味財産期末残高	5,235,579
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	
指定正味財産期首残高	
指定正味財産期末残高	
III 正味財産期末残高	5,235,579

財 産 目 録

2013年12月31日まで

(単位：円)

科目名	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	6,271,919
現金	14,031
現金手許有高	
普通預金	6,257,888
中国銀行津山支店	4,289,665
口座番号1281389	
鳥取銀行津山支店	612,879
口座番号67038	
津山信用金庫本店	1,355,344
口座番号0659314	
立替金	
未収入金	372,047
社会保険料調整分等	
事業仮払金	40,500
次年度会議費等	
貯蔵品	
流動資産合計	6,684,466
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
津山森林組出資金235口	
固定資産合計	117,500
資産合計	6,801,966
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	239,940
事務局員給与、交通費、社会保険料	
預り金	3,070
源泉所得税他	
仮受金	
流動負債合計	243,010
2. 固定負債	
固定負債合計	
負債合計	243,010
III 正味財産の部	
一般正味財産	5,235,579
正味財産合計	5,235,579
負債および正味財産合計	5,478,589

物品管理会計

資産の部	摘 要	金 額
	1. 受信用電話機セット	10,000
	2. 書庫 1. ファイリングキャビネット	19,550
	2. 事務用ロッカー	20,000
	3. 会議用ロッカー	24,000
	4. 書庫(大・上下)	44,000
	5. 書庫(大・上下)	15,500
	6. 書類収納用ロッカー(階下)	70,000
	3. 例会用パネル 3枚(含新マーク)	15,000
	4. 例会用演題	44,000
	5. 特別会員ネームプレート	21,500
	6. 私書箱	23,250
	7. 事務机2台 椅子1脚	3,500
	8. 事務机	2,800
	10. 裁断機	7,200
	11. JC旗用三脚	4,160
	12. 手提げ金庫	
	13. 絵画	92,700
	14. テント 4張り	20,720
	15. 書庫	15,750
	16. ホワイトボード	37,080
	17. ロッカー上置戸棚 1set	30,000
	18. 会議用テーブル(1)、椅子(4)	60,000
	19. レターケース	7,980
	20. テレホンスタンド	205,500
	21. 留守番電話機	205,500
	22. ADSLモデム一式	206,000
	23. 例会用看板・城下町宣言タペストリー	205,000
	24. 無線LAN BBルーター	20,317
	25. シュレッダー	68,000
	26. 特別会員ネームプレート	283,500
	27. JCIマーク入りLOM旗 一式	207,000
	28. JCIマーク入り法被一式	207,000
	29. 会議用長パイプ椅子 6脚	209,000
	30. LOM会計ソフト(バランスマン)	209,000
	31. リソグラフ印刷機 RZ570 1台	210,000
	32. 会議用長テーブル 3台	211,000
	33. フロントアPC・周辺機器一式	212,000
	34. PC用外付ハードディスク	213,000
	35. プロジェクター用スクリーン	213,000
	36. キヤノンレーザープリンターLBP3310	213,000
	37. テント 1張り	213,000
	38. 書庫 4台	213,000
	39. プロジェクター	213,000
物品管理会計の資産取得額の合計		960,507
2013年度取得 プロジェクター		2013年度卒業記念品

一般社団法人 津山青年会議所

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

監査報告書

一般社団法人 津山青年会議所

2013年度理事長

光岡宏文 殿

2014年1月8日

一般社団法人津山青年会議所

監事 田村 泰庸



監事 仲西 祐一



私たちは、2013年1月1日から2013年12月31日までの会計年度における会計及び監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

(1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査報告

(1) 貸借対照表・収支計算書・正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び、財産状態を正しく表示しているものと認められる。

(2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。

(3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

3. 監事講評

2013年度は、光岡理事長のもと「今こそ和っしょい！」～心一つに、力強く盛り上げていこう～をスローガンに掲げて事業を展開されました。

中国地区コンファレンスでは、開催地LOMとして素晴らしい力を発揮し、美作国建国1300年では記念事業として模擬天守閣の復元を成功させ、津山市民だけでなく岡山県内を始め中国地区のJCメンバーから沢山の褒めの言葉をいただきました。まさに光岡理事長が掲げられたスローガンを反映した成果が残せたと思います。

LOMの事業では各委員会・プロジェクトが委員長・キャプテンを中心に組織が一つになって事業に取り組みことで、参加者、協力者等の事業に関わった人達にもしっかりと私たちの想いを伝える事が出来たと思います。

2013年は(一社)津山青年会議所の会員の理事役員は勿論の事ですが、入会年度の若い会員の活躍が目立った1年だと感じています。入会年度が3年未満の会員が半数近い現在の状況の中で、まさに本年度のスローガンのような想いをもち力を合わせる事が今後も必要不可欠だと思います。

2014年度もこの勢いのままに益々のご活躍と発展を期待して監事講評とさせていただきます。

2014年度

事業計画
一般会計予算



一般社団法人 津山青年会議所
第57代理事長 須江健治

年頭所感

<基本理念>

～20年後の活力ある「つやま」を夢描き、未知なる「道」を今踏み出そう！～

1949年、戦後の荒廃したまちを目の前にして「新日本の再建は我々青年の仕事である」という使命感から48名の若き青年達により、東京で青年会議所が立ち上がりました。その祖国を愛する青年達のやむにやまれぬ情熱は、津山にも1958年に伝播し津山青年会議所が誕生しました。先輩方の確固たる想いと情熱は、この国をそして、この地域を隅々まで照らす為に今まで連綿と受け継がれてきました。我々は創始の想いと56年間の歴史・伝統・信頼を継承し、さらに進化・発展させる気概と覚悟を持ち60年、70年、100年先を光り輝く未来へとつなげていくため、力強く邁進して行かなければなりません。

しかし、現代社会においては、バブル崩壊より20年以上にもわたり経済成長は行き詰まり、財政問題、他国への依存の強い経済体質、エネルギー問題、食糧自給率の低下等とあわせて、一部のマスコミ報道による自虐的な社会的風潮の蔓延や、「個の自由」すなわち「自己第一主義」ばかりが優先され、未来を担う子どもたちにおいてもそのような傾向が顕著に表れており、夢想だにできなかった事件が次々と世間を賑わしています。さらに、GHQの統治政策によって日本国を形成していたあらゆる価値観が排除されたことにより「和を以て貴しとなす」ことを重んじ、他を慮る気持ちを美徳としてきた日本人の「道徳観」さえも失われつつある時代となっており、喫緊の課題を抱えながらも根本的な打開策の見えない時代が続いています。しかし、近年、竹島や尖閣諸島をはじめとする領土領海における我が国の主権や国益を脅かす動きを契機に、正しい歴史認識を持ち、さらには憲法・教育等の問題に対しても正しく問題意識を持つ人が増えているように感じます。日本人の源流や歴史を深く掘り下げて学び"和魂漢才"でも"和魂洋才"でもなく「和魂和才」を行うことで日本人が本来持っていた"大和魂"を取戻し、家族を守り、友を助け、地域を愛し、国を想い、日本国に愛着と誇りを持ち、他国の歴史・文化を理解出来るグローバル感覚あふれる国際人の育成を行うことが世界の平和と繁栄に寄与して行く人財の育成となり、この現状を打破することにつながると考えます。また、2011年3月11日14時46分に発災した東日本大震災により日本中が一瞬で闇につつまれました。そのような状況の中で、秩序を守り、冷静に行動する被災者の姿は世界中から称賛されました。そのことは、私たちが本来持っていた精神性にあらためて気づかされ、自信と誇りを取り戻すきっかけとなりました。また、この未曾有の大参事により目覚めた「利他的遺伝子」により「自己第一主義」から「家族帰帰」へ大きく針が振れ、地域におけるコミュニティの「ひと」と「ひと」の心のつながりの大切さに気付かされました。復旧から復興へ、戦後から震災後へと、希望を取戻し前向きに日本全体が動き出している今だからこそ、我々JAYCEEはこの時代の先頭に立ち『この国難を乗り越えるの

は我々青年の仕事である』と新たな気概と覚悟を持ち、未来志向に力強く歩みを進めていかなければなりません。

私たちが住み暮らす地域「つやま」は気候風土にも恵まれ古くから美作国として、また城下町としては津山城を中心にして栄えた歴史・伝統・文化溢れるまちです。まちはそのまちに住む「ひと」が主役です。「つやまへの愛着と誇り」と「自分たちのまちは自分たちで創る」という気概と覚悟を合わせ持ち行動する「つやま魂溢れるひと」を一人でも増やし、一人でも多くの市民の活力を引き出し、その「ひと」と「ひと」の輪をつなげ、まちの活性化を図っていくことが大切です。そして、美しき日本の風景や歴史・伝統・文化を継承し、さらに進化・発展させ、光り輝く「懐かしい未来」へと歩みを進めることが次世代へとつながる"活力ある「つやま」のあした"を創造して行く「道」であると考えます。

『すべての夢は叶う。追いかける勇気があれば』 ウォルト・ディズニー

●人間力溢れ躍動感のあるひとづくり

活力ある「つやま」を創造して行くためには、我々が若者らしく積極果敢に躍動感のある運動・活動する「ひと」である必要があります。「青年の学び舎」として修練・奉仕・友情のJ C三信条を基本に、互いに磨き合える環境をつくり、時代を切り拓く力を身に付けることが青年経済人として、また地域のオピニオンリーダーとしての信頼を培うことになり、さらには良きフォロアーとしても市民と共に歩むことが出来る「ひと」となり、そのことは地域との関わりを重視した経営が出来る青年経済人の開発・育成につながっていくと考えます。青年会議所には挑戦すればするほど大きなステージがあります。スキルアップしながら様々なステージに挑むことで、多くの学びや気づきを得る機会が増えます。しかし、自分が挑まなければ何も得るものがないのも青年会議所です。だからこそ物事の大小に関わらず、チャンスがあれば「はい！喜んで！」とチャレンジ精神と行動力を持って積極果敢に挑み、やる時は全力でやり楽しむ時は全力で楽しみながら、ポジティブに最後までやり遂げることが大切なのです。そのことは己の隠された能力を開発し地域経済へ寄与出来る、より魅力的な人間形成となります。己を律し「挑戦こそが成長である」ということを決して忘れず、心はいつも朗らかな人間力溢れるJ A Y C E Eを創造していこう。

●つやま魂溢れ活力のあるまちづくり

活力ある「つやま」を創造していくためには、日本の歴史・伝統・文化だけでなく、つやまの歴史・伝統・文化・風土・風習や歴史上の人物についても深く知っておく必要があります。そのことは他地域を能動的に学び「つやま」の新たな「ソーシャルストック」を掘り起こすことにつながります。新たな活力をこのまちにもたらすことは、つやまに愛着と誇りを持つ「ひと」を増やすきっかけとなります。「ひと」がまちに想いを持って住み暮らすからこそまちは活性化します。しかし、地域つやまにおいて将来の人口減少は避けられない状況となっています。どうすれば20年後の活力ある「つやま」を創造出来るかを夢描き語り合い、10年先、5年先、3年先を中長期的に考えた上で「今」出来る事を積極果敢に実行して行かなければなりません。未来を担う子ども達が20年後につやまに住み暮らしたいと思えるようなまちづくりを行い、つやまに愛着と誇りを持ち行動する「つやま魂溢れるひと」を一人でも増やし、その「ひと」がこのまちを活性化していくと共に、新たな「つやま魂溢れるひと」を育む「つやま活性化のサイクル」を大きく循環させていく必要があります。そのためには我々が、56年間の歴史・伝統・信頼と培われてきたネットワークという素晴らしい財産を最大限活用し、市民・企業・各種団体・行政等と有機的につながり、自助・共助・公助の調和のとれた活力ある「つやま」のあしたの創造に向けて力強く歩み続け、「真に地域に必要とされる団体」となる必要があります。

●「ひと」と「ひと」との心をつなぐ交流

津山青年会議所が地域と共に歩んで行くためには、常に地域・行政・他団体・各地J C・各種マスコミ等と強固なつながりを持った団体である必要があります。我々が高い志とつやま魂を胸に行動するつやまのオピニオンリーダーであるためには、常にアンテナを高く張って様々な情報をキャッチし、会員に発信すると共にその情報をリテラシーする能力を磨く必要があります。さらに、我々の運動・活動を広く発信し、市民・企業・各種団体・行政等を巻き込み「J Cだからできること」「J Cにしかできないこと」を伝

えて行く姿勢が大切です。携帯電話がスマートフォンに変わっていく中でSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等、日々進化するコミュニケーションツールを積極的に活用することは大切なことです。しかし人間同士が膝を交えて、泥臭く語り合うことこそがお互いに「絆」を強め、「ひと」と「ひと」とが深くつながっていく大切なコミュニケーションであるということはいつの時代も変わりません。だからこそ、我々が先輩から受け継いできた"礼儀礼節"や"おもてなし"の精神をいかに発揮し、仕事や家族の時間を削って作った貴重な時間を「緊張と緩和」のある最高の瞬間に変えて行こうとする情熱が大切なのです。そして、その瞬間ごとの役割を自覚し、「なんでも吸収してやろう！」という積極的な姿勢で臨むことによりその時間は学びや気づきの多いものへと変化し、貴重な時間を浪費することなく自己の成長やかけがえのない「仲間」をつくることにつながるのです。

●思いやり溢れ一体感のあるJCづくり

一般社団法人として新たな歩みを進めて2年目となる本年、さらに公益性を高めるべきところは高め、地域に密着した運動を展開して行く必要があります。しかし法人格が変わっても、地域のオピニオンリーダーであり続ける気概と覚悟を持った仲間が相集う団体であることは変わりません。一人ひとりがそれぞれの責任と役割を担いながら、少しずつ背伸びをして現状を突破し、義理や礼儀礼節を弁えた中で「仲良く、楽しく、思いやりを持って互いに厳しく」利害関係や年齢を超越し、「ひと」と「ひと」とが真剣にぶつかり合い、活力ある「つやま」に向けて"泥臭く"歩んで行くからこそドラマティックなJCが生まれ、そこに感動が生まれるのです。その結果、強い絆で結ばれた「思いやり溢れる一体感のあるJC」となり、そのことは「つやま」に活力を与えることにつながるのです。

●志高く一人でも多くの仲間と共に歩んで行こう

『明るい豊かなつやま』の実現のためには同じ志を持つ仲間は一人でも多いほうが良いと考えます。時代の変化と共に社会構図も大きく変わりつつある中で変えなくてはならないところは変えていき積極的に会員拡大を行っていかねばなりません。そのためには、まず我々がJCを好きになり何事にも積極的に取り組む姿勢を示すことで青年会議所の魅力を発信して行くことが会員拡大への「道」と考えます。誰しも自分を高めたいと思う時があります。その時がJCにはいるタイミングです。その人が入会するかしないかはあなたが決めることではありません。まずは身近な関わりのある人に声をかけてみよう。

〈スローガン〉

夢は叶う 共に歩もう

揺さぶれ！つやま魂 懐かしい未来へ向かって

〈基本方針〉

本年度、津山青年会議所は、昨年の中国地区コンファレンスの開催や津山城模擬天守復元をはじめとする様々な事業で得た多くの経験やネットワークそして、先輩方が培って来られた56年の歴史・伝統・信頼を継承しつつ、各種団体とさらに強固なネットワークを構築し、20年後の活力ある「つやま」を夢描き語り合い、地域のオピニオンリーダーとしてより一層志を高く持ち、つやま魂溢れる「情熱」と、一歩前に踏み出す「勇気」と、あらゆる「英知」を結集し、懐かしい未来へ向かって、若者らしく積極果敢に躍動感のある運動を展開することで『明るい豊かな社会』の実現を目指し、心一つに歩みを進めてまいります。

〈運動方針〉

人間力溢れ躍動感のあるひとづくり

（積極果敢に挑戦し、ポジティブに行動するひとづくり）

つやま魂溢れ活力のあるまちづくり

（20年後の活力ある「つやま」につながるまちづくり）

思いやり溢れ一体感のあるJCづくり

（仲良く・楽しく・厳しいJCづくり）

2014年度 理事・役員名簿

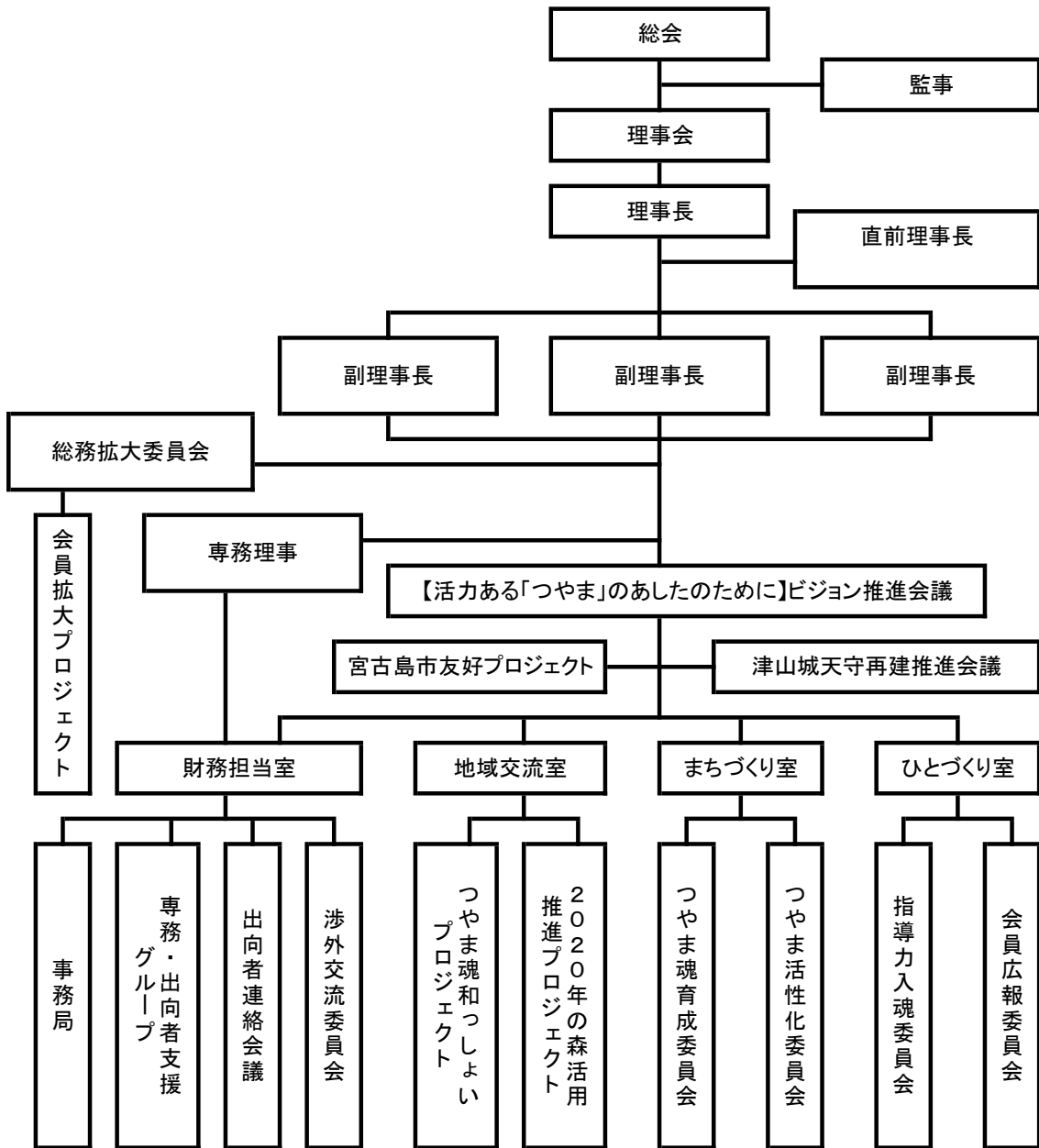
理 事 長	須 江 健 治	
直 前 理 事 長	光 岡 宏 文	(岡山ブロック協議会 副会長)
副 理 事 長	土 居 大 介	(公益社団法人日本青年会議所 規則審査会議 委員)
副 理 事 長	土 井 康 徳	(津山城天守再建推進会議 議長)
副 理 事 長	河 原 淳	(中国地区協議会 主権国家確立委員会 委員長)
総務拡大委員会委員長	長谷川 毅	(ビジョン推進会議議長)
専 務 理 事	鳥 越 俊 之	(出向者連絡会議 議長)
宮古島市友好プロジェクト担当常任理事	脇 優 太	(公益社団法人日本青年会議所 相互理解確立委員会 委員)
ひとづくり室担当常任理事	北 村 暢 宏	
まちづくり室担当常任理事	菅 田 拓 平	(全国城下町青年会議所連絡協議会 理事)
地域交流室担当常任理事	有 本 紳 介	(中国地区協議会 主権国家確立委員会 副委員長)
財務担当室常任理事	福 田 邦 夫	(公益社団法人日本青年会議所 真の経済創造支援委員会 委員)
つやま魂和っしょいプロジェクトキャプテン	橋 本 安 弘	
2020年の森活用推進プロジェクトキャプテン	山 形 三 平	
会員広報委員会委員長	中 川 洋 平	(岡山ブロック協議会 総務委員長連絡会議 副委員長)
指導力入魂委員会委員長	山 本 竜 義	(岡山ブロック協議会 意義あふれる人材育成委員会 副委員長)
つやま活性化委員会委員長	須 江 庸 司	(岡山ブロック協議会 活気に満ちあふれた地域創造委員会 委員)
つやま魂育成委員会委員長	植 月 達 也	(岡山ブロック協議会 光り輝く未来創造委員会 委員)
渉 外 交 流 委 員 会 委 員 長	岸 本 陽 平	
出 向 理 事	鈴 木 大 介	(公益社団法人日本青年会議所 真の経済創造支援委員会 総括幹事)

監 事	村 上 雅 人
監 事	仲 西 祐 一

(常任オブザーバー)

日 本 青 年 会 議 所	眞 木 祐 治	(規則審査会議 委員)
中 国 地 区 協 議 会	小笠原 翔 太	(主権国家確立委員会)
中 国 地 区 協 議 会	片 田 恭 裕	(主権国家確立委員会)
全国城下町青年会議所連絡協議会	金 田 長 一 郎	
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	田 邊 久 人	(副会長幹事)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	森 山 裕 一	(副会長幹事)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	眞 木 祐 治	(意義あふれる人材育成委員会)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	小 林 諭 卓	(活気に満ちあふれた地域創造委員会)
岡 山 ブ ロ ッ ク 協 議 会	保 田 知 己	(光り輝く未来創造委員会)

一般社団法人 津山青年会議所 2014年度組織図



2014年度 (一社)津山青年会議所 所屬表(案)

理事長	須江 健治	重即理事長(宮古都市友好プロジェクト)	光岡 宏文	副理事長(ひとづくり室担当)	土居 大介	副理事長(まちづくり室担当)	土井 康徳	副理事長(地域交流室担当)	河原 淳	監事	村上 雅人	監事	仲西 祐一
専務理事	鳥越 俊之	理事・委員長	長谷川 毅	副委員長	光岡 宏文	幹事	福田 邦夫	委員	須江・土居・上井・河原・鳥越・脇・北村 菅田・有本	会員拡大プロジェクト	池田・早瀬・田邊 石原・西村・松本		
常任理事	脇 優太	キヤプテン	脇 優太	副キヤプテン	北村・菅田 有本・福田	幹事	山本 俊輔	プロジェクトメンバー	廣田・平井・河野・奥田				
常任理事	北村 暢宏	理事・委員長	中川 洋平	副委員長	山本 俊輔	幹事	早瀬 久善	委員	龍門・寺本・山形・尾島・井上・村上(卓)				
常任理事	菅田 拓平	理事・委員長	山本 竜義	副委員長	廣田 勤	幹事	田邊 久人	委員	金田・保田・眞木・松永				
常任理事	有本 紳介	理事・委員長	須江 庸司	副委員長	平井 伸明	幹事	石原 雅志	委員	末澤・橋本・小林・片田・森山・秋田				
常任理事	有本 紳介	理事・キヤプテン	植月 達也	副キヤプテン	河野 雅樹	幹事	西村 憲明	委員	山本(眞)・池田・福島・井口・西村(明)				
地域交流室	有本 紳介	つやま魂和っしよい プロジェクト	橋本 安弘	副キヤプテン	片山 英之	幹事	末澤 秀昌	プロジェクトメンバー	村上・石原・奥田・岸本・廣田・山本(俊)・田邊・眞木・森山・松本 井上・村上(卓)・松永・秋田・井口・西村(明)・流瀬				
地域交流室	有本 紳介	2020年の森 活用推進プロジェクト	山形 三平	副キヤプテン	小笠原 翔太	幹事	片田 恭裕	プロジェクトメンバー	村上・寺本・小笠原・小林・金田・保田・福島・片田・早瀬・西村				
財務担当室	福田 邦夫	理事・委員長	岸本 陽平	副委員長	奥田 考弘	幹事	松本 宏光	委員	梶岡・小笠原・鈴木・片山・流郷				出向理事 鈴木 大介
会議	鳥越 俊之	議長	鳥越 俊之	副議長	福田 邦夫	幹事	岸本 陽平	委員	光岡・土居・河原・脇・菅田・有本・中川・山本(竜)・植月・須江(庸) 鈴木・村上・小笠原・福島・眞木・小林・保田・森山・田邊・片田・金				職務・出向者支援グループ 早瀬・田邊・石原 西村・松本
(公社)日本青年会議所	須江 脇	出向者連絡会議	出向者連絡会議	中国地区協議会	河原・村上・有本・小笠原・片田	主権国家確立委員会	河原・村上・有本・小笠原・片田	全国城下町青年会議所連絡協議会					一般社団法人 津山青年会議所
規則審査会議	須江 脇	相互理解確立委員会	真の経済復興創造委員会	主権国家確立委員会	河原・村上・有本・小笠原・片田	河原・村上・有本・小笠原・片田	河原・村上・有本・小笠原・片田	中国地区協議会					〒708-0022
岡山プロック協議会	須江 脇	岡山プロック協議会	岡山プロック協議会	岡山プロック協議会	岡山プロック協議会	岡山プロック協議会	岡山プロック協議会	岡山プロック協議会					岡山県津山市山下30-9
副会長幹事	須江 脇	副会長幹事	副会長幹事	副会長幹事	副会長幹事	副会長幹事	副会長幹事	副会長幹事					(津山商工会館内4階)
副会長	須江 脇	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長					TEL: (0868) 22-6713
副会長	須江 脇	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長					FAX: (0868) 25-1415
津山市民憲章 推進協議会	須江 脇	津山市民憲章 推進協議会	津山市民憲章 推進協議会	津山市民憲章 推進協議会	津山市民憲章 推進協議会	津山市民憲章 推進協議会	津山市民憲章 推進協議会	津山市民憲章 推進協議会					

2014年度 (一社)津山青年会議所新会員名簿

区分	氏 名	勤 務 先	役 職
新 加 入 者	秋 田 義 徳	山陽ロード工業(株)	部 長
	井 口 敏 満	株式会社TYS	代表取締役社長
	井 上 高 志	合同会社MOVE ON	代 表 社 員
	西 村 明 秀	有限会社西村ビルサービス	
	松 永 大 輝	大手町薬局	
	村 上 卓 也	津山市都市建設部管理課	技 師
	流 郷 知 寛	有限会社レックデザイン	代 表 取 締 役

以上7名

2014年度 (一社)津山青年会議所 各室及び委員会・プロジェクト事業計画

月 日	内 容
総務拡大委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局の管理・運営及び掌握（専務理事への協力） 2. 総会の運営及び総会資料の蒐集並びに理事会及び例会の議事録の作成及び保管・管理 3. 褒賞及び表彰に関する事項 4. 定款に関する事項 5. (一社)津山青年会議所の組織に関する事項 6. 会員拡大の実施推進 7. 入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱い（専務理事への協力） 8. 慶弔に関する事項 9. 会員名簿の作成及び保管・管理 10. 公益法人制度に関する事項 11. 事務局運営に関する事項 12. 地域・行政・他団体・各地J Cとの連携による防災・減災・復旧活動の推進 13. 津山市民憲章推進協議会への参画 14. 「鶴山を考える会」への参画 15. 宮古島市友好プロジェクトへの参画 16. 他の委員会に属さない事項
ビジョン推進会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の統括管理及び実施推進 2. ビジョンの推進 3. 事業計画及び事業予算の検討調整 4. 各室間の連絡調整
津山城天守再建推進会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. 津山城天守再建に関する事項の企画・推進 2. 津山城を中心とした津山城周辺市街地活性化ビジョンの企画・推進
宮古島市友好プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宮古島市友好プロジェクトの企画・統括・管理・運営 2. ビジョン推進会議への参画
ひとつくり室	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 2. 人間力開発の啓発に関する事項 3. (一社)津山青年会議所ホームページの管理・更新 4. 津山市民憲章推進協議会への参画 5. 会員拡大の実施推進 6. ひとつくり室に所属する各委員会の企画調整 7. ビジョン推進会議への参画 8. 津山城天守再建推進会議への参画 9. 宮古島市友好プロジェクトへの参画及び企画・運営 10. 全国城下町青年会議所連絡協議会への参画
まちづくり室	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 2. 津山城天守再建推進会議への参画及び企画・運営 3. 津山圏域の歴史・伝統・文化に関する事項 4. 魅力ある地域力創造に関する事項 5. 津山市民憲章推進協議会への参画 6. 会員拡大の実施推進 7. まちづくり室に所属する委員会の企画調整 8. ビジョン推進会議への参画 9. 宮古島市友好プロジェクトへの参画及び企画・運営 10. 全国城下町青年会議所連絡協議会への参画
地域交流室	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 2. 地域・行政・他団体との情報交換及び交流の調整 3. 「特定非営利活動法人つやまNPO支援センター」への参画 4. 国際化に関する諸問題への対応 5. 「鶴山を考える会」への参画 6. 津山市民憲章推進協議会への参画 7. 会員拡大の実施推進 8. 地域交流室に所属するプロジェクトの企画調整 9. ビジョン推進会議への参画 10. 津山城天守再建推進会議への参画 11. 宮古島市友好プロジェクトへの参画及び企画・運営 12. 全国城下町青年会議所連絡協議会への参画

月 日	内 容
地域交流室	<ol style="list-style-type: none"> 1. (一社)津山青年会議所の目的達成のための計画の立案及び実施推進 2. 地域・行政・他団体との情報交換及び交流の調整 3. 「特定非営利活動法人つやまNPO支援センター」への参画 4. 国際化に関する諸問題への対応 5. 「鶴山を考える会」への参画 6. 津山市民憲章推進協議会への参画 7. 会員拡大の実施推進 8. 地域交流室に所属するプロジェクトの企画調整 9. ビジョン推進会議への参画 10. 津山城天守再建推進会議への参画 11. 宮古島市友好プロジェクトへの参画及び企画・運営 12. 全国城下町青年会議所連絡協議会への参画
財務担当室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局の管理・運営（専務理事への協力） 2. 入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱い（専務理事への協力） 3. 慶弔に関する事項（総務拡大委員長への協力） 4. 会員名簿の作成及び保管・管理（総務委員会への協力） 5. 事務局運営に関する事項（総務拡大委員長への協力） 6. 地域・行政・他団体・各地JCとの交流及び情報交換の連絡・調整 7. 地域・行政・他団体・各地JCとの連携による防災・減災・復旧活動の推進 8. 津山市民憲章推進協議会への参画 9. 会員拡大の実施推進 10. 財務担当室に所属する委員会の企画調整 11. 総務拡大委員会に対する協力 12. 津山城天守再建推進会議への参画 13. 宮古島市友好プロジェクトへの参画及び企画・運営 14. 全国城下町青年会議所連絡協議会への参画
つやま魂和っしょいプロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 津山のまつりへの参画 2. 和っしょい！津山の普及・情報収集及び事業の推進 3. 音楽祭に関する諸問題の調査研究及び事業の推進 4. 地域交流室の計画に基づく事業の推進 5. ビジョン推進会議への参画
2020年の森活用推進プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年の森に関するビジョンの調査研究 2. 2020年の森を活用したつやま魂を創造する事業の推進 3. 2020年の森の管理・育成 4. 森の範囲の確認 5. 管理小屋・橋・広場の維持・管理 6. 作業道の拡幅及び管理 7. タイムカプセルの管理 8. 鎌・巻物の管理 9. 地域交流室の計画に基づく事業の推進 10. ビジョン推進会議への参画
会員広報委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月例会の企画・運営統括及び通知の発行 2. 会員開発に関する事項 3. 会員及び委員会の表彰具申 4. 会員相互の友愛親睦及び体育厚生 5. その他会員に関する一切の事項 6. (一社)津山青年会議所ホームページの活用・運用 7. JCニュースの発行 8. ひとつくり室の計画に基づく事業の推進 9. ビジョン推進会議への参画 10. 日本JC、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項
指導力入魂委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の指導力に関する研究及び推進 2. 経営者としての会員の研修及び開発に関する事項 3. 新会員の研修に関する事項 4. 会員の研修に関する事項 5. ひとつくり室の計画に基づく事業の推進 6. ビジョン推進会議への参画 7. 日本JC、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項

月 日	内 容
つやま活性化委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域文化創造のための諸問題の調査研究及び事業の推進 2. 「ソーシャルストック」を活用した地域の発展に関する事業の推進 3. 津山城天守再建推進会議への参画及び実施 4. まちづくり室の計画に基づく事業の推進 5. ビジョン推進会議への参画 6. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項
つやま魂育成委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年、教育、福祉等の諸問題の調査研究及び事業の推進 2. 地域社会の活性化に貢献できる地域人材の育成に関する事項 3. まちづくり室の計画に基づく事業の推進 4. ビジョン推進会議への参画 5. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項
渉外交流委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会への公聴広報活動に関するつやま魂を創造する事業の推進 2. 地域・行政・他団体・各地J Cとの交流及び情報交換の企画推進 3. 地域・行政・他団体・各地J Cとの連携による防災・減災・復旧活動の推進 4. 日本J C及び各地J Cとの意見情報の交換及び蒐集 5. (一社)津山青年会議所ホームページの活用・運用(会員広報委員会との連携) 6. J Cニュースの発行(会員広報委員会との連携) 7. 出版物の整理及び保管 8. マスコミ関係者及び記者クラブとの連絡及びPR推進 9. 渉外に関する事項 10. 対外的行事に関する会合の連絡及び通知の発行 11. 各地J Cの行事に関するメンバー参加の掌握 12. 出向者支援会議との連携 13. 財務担当室の計画に基づく事業の推進 14. ビジョン推進会議への参画 15. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項
出向者連絡会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項の報告・連絡・調整 2. 会員、その他に対する参加促進 3. 渉外交流委員会との連携
専務・出向者支援グループ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専務理事及び財務担当室に関する事項 2. 日本J C、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会への出向者に関する事項 3. 各所属委員会への連絡・調整
会員拡大プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員拡大の実施推進 2. 総務拡大委員会に関する事項

一般社団法人 津山青年会議所 収支予算書

自2014年1月1日 至2014年12月31日

(単位：円)

科目	2014年度	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取入会金	350,000	
受取入会金	350,000	50,000 X 7名
受取会費	8,250,000	
正会員受取会費	8,250,000	150,000 X 55名
特別会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
事業収益	0	
登録料収益	0	
業務受託収入	0	
雑収入	0	
受取補助金等	0	
受取国庫補助金	0	
受取地方公共団体補助金	0	
受取民間補助金	0	
受取負担金	0	
受取負担金	0	
受取寄付金	200,000	
受取寄付金	200,000	JCボックス
募金収益	0	
雑収益	525,067	
受取利息	1,067	
その他雑収入	0	
津山市民憲章受託費	264,000	22,000 X 12ヶ月
OB会通信費	260,000	2,000 X 130名
経常収益計	9,325,067	
(2) 経常費用		
事業費	4,937,101	
会場設営費支出	343,710	
人件費支出	30,000	
会場費支出	80,200	
設営費支出	233,510	
企画・演出費支出	473,777	
演出費支出	473,777	
本部関係費支出	936,000	
設営費支出	936,000	
渉外費支出	0	
講師関係費支出	294,697	
記念品代支出	294,697	
資料作成費支出	886,075	
作成費支出	886,075	
保険料支出	114,009	
雑費支出	44,095	
委員会運営費支出	2,318,515	

科目	2014年度	備考
管理費	4,917,967	
会議費	91,000	理事会、次年度理事会
役員報酬	0	
給料手当	2,370,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
旅費交通費	0	
通信・発送費	400,000	
消耗品費支出	150,000	
リース料支出	180,000	
印刷製本費支出	599,500	
光熱水料費支出	168,324	
賃借料支出	442,193	
業務委託費支出	104,950	設計アドニス社・ホームページ管理費・サー バーレンタル料・ドメイン更新料
インフォメーション関係費支出	10,000	津山朝日新聞社
渉外費支出	272,000	
雑支出	130,000	
負担金支出	891,200	
JCI負担金支出	56,000	
日本JC負担金支出	325,000	
地区協議会負担金支出	28,000	
ブロック協議会負担金支出	112,000	
国際協力資金支出	102,200	
日本JC出向者負担金支出	100,000	
We Believe購読料支出	168,000	
経常費用計	10,746,268	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	
基本財産評価損益等	0	
特定資産評価損益等	0	
投資有価証券評価損益等	0	
評価損益等計	0	
当期経常増減額	△ 1,421,201	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,421,201	
一般正味財産期首残高	5,235,579	
一般正味財産期末残高	3,814,378	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産残高	3,814,378	